



彩の国
埼玉県

学校・家庭・地域が
一体となった子供の育成



埼玉県のマスコット コバトン

平成28年度

「学校応援団」 「放課後子供教室」 実践事例集

<学校応援団推進事業>
<放課後子供教室推進事業>



埼玉県教育委員会

平成29年3月

はじめに

近年、少子高齢化の著しい進行や、地域社会のつながり、支え合いの希薄化等により、地域の教育力の低下が指摘されています。また、いじめや不登校等、学校が抱える課題が複雑化、困難化している中、学校と地域が互いにパートナーとなり、未来を担う子供たちを育てていくことが必要です。

平成27年12月に出された国の中央教育審議会答申では、今後の地域における学校との協働体制の在り方について、子供の育ちを軸に据えながら、地域における様々な教育機関や首長部局の行政機関、PTAやNPO、民間団体や企業等がつながり、子供たちを支える教育体制の構築が重要であると述べられております。

本県においては、保護者や地域住民が学校の教育活動を支援する「学校応援団」、子供たちの放課後等の安全・安心な居場所を提供したり、地域の人材や企業等の参画を得て多様なプログラムを実施したりする「放課後子供教室」や「土曜日の教育支援」、学習に課題を抱える中学生を支援する「中学生学力アップ教室」など、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進しています。

各市町村や学校の熱意ある取組、また、保護者や地域の方々の御理解、御協力を受け、全ての小・中学校で「学校応援団」による活動が行われるとともに、「放課後子供教室」等の教室数が増加するなど、着実に各事業の充実が図られているところです。また、各事業に関わる児童生徒と保護者や地域の方々との交流、保護者や地域の方々同士の交流が深まる中、地域で子供たちを育てようとする気運が年々高まっており、関係の皆様方には、改めて感謝申し上げます。

さらに、平成28年度は「地域の教育力を生かした学習支援の取組の推進」をテーマとして、桶川市、入間市、本庄市、秩父市、久喜市の5市教育委員会に研究実践に取り組んでいただき、地域の特色を生かした「学校応援団」活動の充実に向けた貴重な成果が報告されております。

本事例集は、「学校応援団」と「放課後子供教室」等の事業を推進する上で参考となる代表的な事例を紹介するとともに、研究指定校における研究内容及び成果等を掲載しています。

各市町村教育委員会や小・中学校、関係団体におかれましては、本事例集を参考にいただき、「学校応援団」や「放課後子供教室」等の活動を通して、学校・家庭・地域が一体となった子供の育成を一層推進していただきますようお願いいたします。

平成29年3月

埼玉県教育局市町村支援部家庭地域連携課長 橋本 強

目 次

第1 「学校応援団」とは

学校応援団の概要について	2
--------------	---

第2 「学校応援団」のテーマ別実践事例

1 組織体制の整備

・伊奈町立南小学校	8
・富士見市立水谷東小学校	10
・横瀬町立横瀬小・中学校	12
・三郷市立高州小学校	14

2 活動内容の工夫

・川口市立並木小学校	16
・和光市立第五小学校	18
・北本市立南小学校	20
・飯能市立加治小学校	22
・三芳町立三芳小学校	24
・毛呂山町立川角小学校	26
・小鹿野町立小鹿野小学校	28
・行田市立南小学校	30
・蓮田市立蓮田北小学校	32

3 地域に根ざした活動

・鴻巣市立広田小学校	34
・新座市立陣屋小学校	36
・狭山市立御狩場小学校	38
・ふじみ野市立西小学校	40
・深谷市立岡部西小学校	42

4 学校・地域の団体等との連携

・東松山市立松山第一小学校	44
・神川町立渡瀬小学校	46

5 中学校における取組

・戸田市立笹目中学校	48
・坂戸市立若宮中学校	50
・鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校	52
・宮代町立須賀中学校	54

第3 「学校応援団」参考資料

平成28年度学校応援団の組織づくりの推進に係る調査結果概要.....	58
------------------------------------	----

第4 「放課後子供教室推進事業」とは

「放課後子供教室推進事業」について.....	64
------------------------	----

第5 「放課後子供教室推進事業」の実践事例(実施市町の取組)

(放課後子供教室)

1 熊谷市.....	74
2 川口市.....	75
3 行田市.....	76
4 秩父市.....	77
5 所沢市.....	78
6 東松山市.....	79
7 春日部市.....	80
8 狭山市.....	81
9 羽生市.....	82
10 鴻巣市.....	83
11 草加市.....	84
12 蕨市.....	85
13 戸田市.....	86
14 入間市.....	87
15 志木市.....	88
16 和光市.....	89
17 新座市.....	90
18 桶川市.....	91
19 久喜市.....	92
20 北本市.....	93
21 八潮市.....	94
22 富士見市.....	95
23 三郷市.....	96
24 蓮田市.....	97
25 坂戸市.....	98
26 鶴ヶ島市.....	99
27 日高市.....	100
28 ふじみ野市.....	101
29 毛呂山町.....	102
30 嵐山町.....	103
31 川島町.....	104
32 吉見町.....	105

33	ときがわ町	106
34	横瀬町	107
35	小鹿野町	108
36	上里町	109
37	杉戸町	110

(土曜日の教育支援)

1	熊谷市	111
2	所沢市	112
3	東松山市	113
4	深谷市	114
5	上尾市	115
6	蕨市	116
7	朝霞市	117
8	新座市	118
9	久喜市	119
10	北本市	120
11	三郷市	121
12	坂戸市	122
13	ふじみ野市	123
14	ときがわ町	124

(中学生学カアップ教室)

1	熊谷市	125
2	川口市	126
3	加須市	127
4	深谷市	128
5	北本市	129
6	越生町	130
7	小鹿野町	131
8	上里町	132
9	寄居町	133

第6 「放課後子供教室推進事業」の成果と課題

「放課後子供教室推進事業」の成果と課題	136
---------------------	-----

第7 地域の教育力を生かした学習支援の取組の推進のための研究委嘱について

「地域の教育力を生かした学習支援の取組の推進」のための研究委嘱について	140
-------------------------------------	-----

第8 地域の教育力を生かした学習支援の取組の推進のための研究実践事例

1	桶川市	144
2	入間市	146
3	本庄市	148

4	秩父市.....	150
5	久喜市.....	152

第1 「学校応援団」とは



学校応援団の概要について

1 趣旨及び背景

(1) 趣旨

学校・家庭・地域が一体となって子供の育成に取り組む。

- 学校の活性化を図る。
- 家庭や地域の教育力の向上を目指す。

(2) 背景

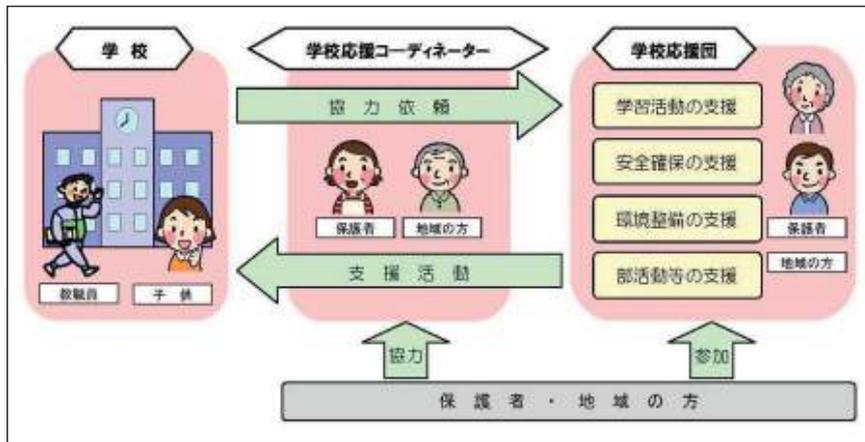
少子化、核家族化、都市化、情報化など、社会の急激な変化に伴い、子供たちを取り巻く環境に様々な課題が生じている。

- 学校 …… 学力低下の懸念、規範意識の低下、体力の低下、社会の変化への対応の必要、学校教育の役割の増大
- 家庭 …… 家庭の教育力の低下、保護者の価値観の多様化
- 地域 …… 地域の教育力の低下、異年齢や異世代の人との交流の減少

2 内容

(1) 「学校応援団」とは

- 保護者や地域住民が、ボランティアとして学校の教育活動を支援する組織。
- ボランティアの中から「学校応援コーディネーター」を選び、ボランティアと学校との橋渡し役として活動を行う。



【現状】

(平成28年度)

組織状況	小学校	中学校
全学校数	708校	355校
学校応援団設置校	708校	355校
組織率	100%	100%

(2) 「学校応援コーディネーター」とは

- 学校と「学校応援団」との間に立って調整を行うボランティア。
県では、「学校応援団」の組織的・継続的な活動を目指すため、「学校応援コーディネーター」の配置を推奨している。
- 「学校応援コーディネーター」の担い手
(例) ・PTA役員、元PTA役員、同窓生
・町内会長、区長、自治会長
・学校支援グループの代表
- 「学校応援コーディネーター」の役割
(例) ・学校の依頼を受けて、ボランティアと連絡・調整
・地域の情報を学校に提供
・「学校応援団」の登録者名簿の管理

【現状】

(平成28年度)

	小学校	中学校
配置されている学校数	708校	355校
配置されている人数	1,601人	670人

(3) 「学校応援団」の主な活動内容

- 学習活動への支援
保護者や地域住民が「学習支援ボランティア」として、児童生徒の学習活動を支援
(例) ・ミシン、書写等の実技支援
・放課後、長期休業中等の補習支援
・体験活動（「みどりの学校ファーム」を含む）への支援 等
- 安心・安全確保への支援
校区内で防犯パトロールを行うなど、児童生徒の登下校時などの安全確保を支援
(例) ・登下校時における通学路の見守り
・朝の挨拶運動、校内外の巡回
・防災訓練への協力 等
- 学校環境整備への支援
学校内での花壇の整備を行うなど、教育活動の環境整備を支援
(例) ・花壇の整備、除草
・学校の施設設備の修繕
・学校図書館の図書整理 等
- 部活動・クラブ活動への支援
ボランティアの経験を活かした部活動指導や大会への引率支援
(例) ・外部コーチとしての実技指導
・大会への引率支援 等

【現 状】

(平成28年度)

活動内容	小 学 校	中 学 校
学習活動への支援	688校	207校
安心・安全確保への支援	702校	293校
学校の環境整備への支援	657校	310校
部活動・クラブ活動への支援	181校	177校

※複数の活動を行う学校あり



〔伝統芸能の学習支援〕



〔安全の見守り〕



〔図書室の環境整備〕

【成果】

- 学校の教育活動の活性化
 - ・学習活動への支援により、子供の学習に対する興味や関心が高まった。
 - ・子供が地域住民と元気に挨拶をしたり、お礼を言ったりすることができるようになった。
 - ・「みどりの学校ファーム」の農業体験活動における育成指導や除草、地域伝統芸能の技術指導など、学校における体験活動の内容が充実するようになった。
- 家庭や地域の教育力の向上
 - ・保護者がどの子に対しても、わが子と同じ思いで接するようになり、地域の一体感が広がりつつある。
 - ・自分の得意なことを「学校応援団」での活動に生かすことにより、保護者や地域住民にとって喜びや生きがいになっている。
 - ・学校応援団のコーディネーターやボランティアが「放課後子供教室」の教育活動サポーター等としても活動するなどの連携を通して、地域の人々の結びつきが生まれ、地域の教育力が向上している。

【課題】

- ・「学校応援団」の活動内容の充実
- ・ボランティア及び学校応援コーディネーターの確保

3 「学校応援団」の組織率の推移

	小学校		中学校	
	応援団が組織されている学校数	組織率（※）	応援団が組織されている学校数	組織率（※）
平成17年度	7校	1%		
平成18年度	208校	29%		
平成19年度	270校	38%		
平成20年度	456校	64%	122校	33%
平成21年度	637校	89%	192校	52%
平成22年度	713校	99%	276校	75%
平成23年度	713校	100%	351校	97%
平成24年度	710校	100%	363校	100%
平成25年度	709校	100%	362校	100%
平成26年度	708校	100%	361校	100%
平成27年度	708校	100%	359校	100%
平成28年度	708校	100%	355校	100%

※「組織率」＝「応援団が組織されている学校数」／「全学校数」

4 推進方策

(1) 学校・家庭・地域の連携協力推進事業の活用

- 国の補助事業（学校・家庭・地域の連携協力推進事業）を活用し、「学校応援団」の拡充を図る。

(2) その他の方策

- 市町村・PTA・民間団体の代表者で構成する推進委員会を核として、優れた実践事例等の普及・啓発を図る。
- 地区別実践発表会やホームページ、実践事例集等を通して、実践を進める上での留意点やヒントとなる情報を提供する。
- 県と市町村との推進体制（担当者会議）の充実を図る。

(3) 平成28年度における主な取組

- 予算上の支援（例：防犯隊用ベスト、広報チラシ印刷、保険料等）
 - ・学校・家庭・地域の連携協力推進事業 26市町村で活用（政令市・中核市除く）
- 全県への普及・啓発
 - ・県の「学校・家庭・地域連携推進委員会」 2回開催
 - ・教育事務所での「学校・家庭・地域連携担当者会議」 2回開催×4地区
 - ・各地区での「学校・家庭・地域連携実践発表会」 5か所で実施

第2 「学校応援団」の テーマ別実践事例

- 〈テーマの内容〉
- 1 組織体制の整備
 - 2 活用内容の工夫
 - 3 地域に根ざした活動
 - 4 学校・地域の団体等との連携
 - 5 中学校における取組



1 組織体制の整備

伊奈町立南小学校の実践

～ 「職員が輝き、児童が輝き、保護者・地域が輝く学校」を目指して ～

1 実践のねらい

子供たちのより良い成長を目指し、学校が保護者や地域の方々と力を合わせて教育活動を推進するとともに、家庭・地域の教育力を活性化するために、学校応援団活動の充実を図るものである。本校の保護者・地域の方々は、学校教育に関心が高く、多くのご支援をいただいている。そこで、「職員が輝き、児童が輝き、保護者・地域が輝く学校」を合言葉に活動を推進し、学校教育目標「元気キラキラ南小」の具現化を図る。

2 事業計画

(1) 方針

《できる人が、できるときに、できるだけ》 《やってよかった、またやりたい》

これまでの成果や課題を踏まえ、学習支援・環境整備・安全指導を活動の中心とし、随時、活動内容や応援団員の拡充を図り、実践のねらいに迫るものとする。

(2) 年間計画

3月 応援団員募集の文書配布

4月 年間活動計画作成、応援団名簿作成

5月 学校応援団会議（活動内容協議）、応援団名簿作成

< 年間を通して >

応援団活動・応援団活動の報告・紹介（学校だより等）・応援団員の追加募集

8月 学校応援コーディネーター会議（1学期活動報告）

1月 学校応援コーディネーター会議（2学期活動報告）

3月 学校応援コーディネーター会議（活動のまとめ）

(3) 学校応援団活動に協力していただくための取組

- ・学校だよりやPTA広報紙等で活動の様子を紹介する。
- ・家庭や地域向けに学校応援団活動の募集の通知を年度末の他にも行事前などに複数回配布する。
- ・「感謝の会」で児童と一緒に給食を食べたり、手紙を渡したりするなど応援団と児童相互のかかわりを深める。



3 事業内容

(1) 学習支援

- ・1学年…野菜収穫パーティー（12月）、昔のあそび（1月）
- ・2学年…サツマイモパーティー（11月）
- ・3学年…そろばん（2月）、七輪体験（2月）
- ・4学年…盲導犬（6月）、絵手紙（10月）
- ・5学年…ミシン操作（11月）、お琴体験（2月）
- ・6学年…茶道体験（7月）、ミシン操作（1、2月）



1 組織体制の整備

(2) 環境整備

- ・学校図書館の図書整備、読み聞かせ（通年）
- ・菊づくり（5月～11月）
- ・プール清掃（6月）
- ・農園土づくり（7月、9月）
- ・花の提供（随時）
- ・施設等のペンキ塗装（随時）



(3) 安全指導

- ・下校見守り隊活動（通年）
- ・2学年…生活科校外学習の交通安全（6月～10月）
- ・3学年…社会科校外学習の交通安全（6月～11月）
- ・長距離走大会の交通整理（12月）
- ・見守り隊連絡会議（3月）



(4) その他

- ・「キラキラ合唱団」合唱指導（通年）
- ・運動会テント張り（9月）
- ・運動会全校「伊奈町音頭」指導（9月）
- ・「南っ子フェスタ」手作りコーナー開設（11月）



4 成果と課題

(1) 成果

- ①学習支援では、子供たちへのよりきめ細かな指導が行われるとともに、専門的な知識や技能に触れ、良い体験をすることができた。
- ②環境整備では、学校と保護者、地域が協力して、きれいな学校づくりに寄与することができた。
- ③安全指導では、校外学習での児童の交通安全や、下校時の不審者対策等に大きな効果があった。
- ④防犯連絡会を開催することで、校区内の地域コミュニティづくりに取り組むことができた。
- ⑤「おやの会」の取組により、活動内容の拡充が図れた。



(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

「地域の高齢化が進み、人材を集めるのが大変だが、子供たちのためにも頑張っていきたい。」
「支援に対しては戸惑いもあったが、すぐに子供たちと打ち解けることができた。さらに協力していきたい。」



(3) 課題

- ①よりよい連携を図るためにも、学校応援団の登録制の定着と増員を図る。また、そのための広報活動を充実させる。
- ②特に学習支援について、活動内容を拡大し、よりきめ細かな指導を目指す。
- ③学校応援団活動が、より良い地域コミュニティづくりに寄与できるよう組織の充実を図り、連携を密にする。

1 組織体制の整備

富士見市立水谷東小学校の実践

～ 家庭・地域の連携による教育支援活動 ～

1 実践のねらい

子供たちの安全安心と健全育成は、学校のみならず保護者・地域の願いである。大人は、子供を「地域の宝」として適切に保護・育成の義務がある。学校は、保護者・地域とともに互いに手を取り合って子供の教育に取り組みたいと考えている。

そこで、保護者・地域の方々の協力を得て「水谷東小学校応援団」を組織し、子供たちに対するきめ細かな指導と個に応じた指導を充実させることを目指す。

2 事業計画

- ・「できるときに、できることを」を前提として無理のない活動をお願いする。「応援団に参加して楽しかった」という思いを大事にしていく。
- ・年間の活動計画を年度当初の保護者会で提示し、協力できるところへ希望を入れてもらう。各活動の時期になったら、各活動のコーディネーターを中心に、連絡調整をしていく。

	学習支援	安心安全	環境整備	地域子ども教室
年間	読み聞かせ (月3回程度)	登下校時の見守り 地域パトロール	花壇整備 樹木剪定	
4月		ボランティア募集		19日(低学年)
5月		全校ハイク補助 町探検補助	校庭除草 グリーンカーテン設置 花苗植え替え	9日(全学年)
6月	調理実習補助	社会科見学補助	図書整備	13日(全学年) 30日(低学年)
7月	算数補習支援			
8月			校庭除草	
9月			グリーンカーテン撤去	6日(低学年)
10月	ミシン学習支援	生活科見学補助		紙ひこうき大会 31日(全学年)
11月	球根植え支援 ミシン学習支援	安全マップ作成支援 持久走大会走路安全確保	花苗植え替え 図書整備	
12月	書き初め指導 調理実習補助	町探検補助		2日(低学年) 12日(全学年)
1月	昔の遊び体験	社会科見学補助		もちつき大会
2月	味噌造り	社会科見学補助	図書整備	13日(全学年) 28日(低学年)
3月	次年度ボランティア募集		校舎周辺清掃	

3 事業内容

(1) 学習活動への支援

- ・読み聞かせ（月3回程度金曜日の朝の活動（読書タイム）に実施）
- ・各教科、総合的な学習等における支援活動を行う。
国語（書き初め毛筆指導支援）
算数（補習支援）
生活科（球根植え支援・昔の遊び体験）
音楽（歌唱指導）
家庭科（ミシン学習・調理実習援助）
総合的な学習の時間（味噌造り・安全マップ作り支援）



(2) 安心安全支援

- ・地域探検、社会科見学、全校ハイク引率
- ・持久走大会時の安全確保・落ち葉掃き
- ・毎週3～4日、放課後等に学区内のパトロール
- ・登下校時の見守り



(3) 環境整備の支援

- ・新年度（新学期）、学校行事に備えての環境美化活動
- ・校内緑化活動（緑のカーテン・花壇整備）
- ・農業体験活動（稲作・野菜作り）における支援活動
- ・図書室整備（本の修理・図書室掲示作成・読書週間での取組への参加）
- ・木々の剪定、除草活動

(4) 地域子ども教室（東っこくらぶ）支援

- ・低学年保護者会の際に子供たちを預かり遊ばせる。
- ・全学年を対象に、放課後遊びを実施。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・保護者も積極的に参加するようになり、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの支援をしているという意識が高まり、よりよい体制が整っている。
- ・様々な方との交流を通して、子供たちには地域の方に支えられている意識が芽生え、感謝の心も育っている。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ・読み聞かせが学級ごとになり、子供たちとの距離が近くなり、子供たちの反応を感じながら本を読むことができ、とても良い。町で出会ったときにも、子供たちが声をかけてくれるのが嬉しい。
- ・東っこクラブに来る子供たちが、きちんと挨拶をしてくれるのが嬉しい。保護者の方も「ありがとうございました」と礼を言って帰る方が増えた。

(3) 課題

- ・学校応援団の活動を教育計画に位置付け、活動の充実を図る。
- ・学力向上を目指し、学習支援面の充実をしていきたい。

1 組織体制の整備

横瀬町立横瀬小・中学校の実践 ～地域の特性を生かした学校応援団の取組～

1 実践のねらい

横瀬町は学校の統廃合により、現在小・中学校が各1校ずつという、県内でも数少ない特性をもった自治体である。そのため、地域住民の学校教育への期待・関心は高い。現在、登録制により100名を超えるボランティアの方々が、学校教育・環境美化・安全安心の3分野における支援活動に取り組んでおり、学校における多くの体験活動が学校応援団により支えられている。

2 事業計画

- 3月 ・支援ボランティア募集
- 4月 ・学校応援団安心安全ボランティア紹介式
・各学校での取組開始
- 5月 ・第1回実行委員会開催（組織づくり、事業計画立案）
- 7月 ・第1回学校応援コーディネーター連絡協議会開催（活動内容について協議）
- 9月 ・第2回学校応援コーディネーター連絡協議会開催
（1学期活動報告、学校応援団ボランティア研修会の開催に向けて協議）
・第2回実行委員会開催（学校応援団ボランティア研修会について協議）
- 11月 ・学校応援団ボランティア研修会（子供の成長を支える講演会）の開催
- 1月 ・第3回学校応援コーディネーター連絡協議会開催
（1、2学期活動報告、刊行物原稿検討）
・第3回実行委員会開催（今年度の成果・課題、次年度に向けて協議）
- 3月 ・刊行物「横瀬町学校応援団の取組」発行、回覧

3 事業内容

(1) 組織づくり・コーディネーターとの連携・協力体制

○横瀬町実行委員会 構成人員【9名】

各学校長、各PTA会長、文化協会長、子ども会連絡協議会長、事務局（教育委員会職員）

○学校応援コーディネーター連絡協議会 構成人員【11名】

前PTA会員、横瀬町公民館職員、民生・児童委員、横瀬町社会福祉協議会職員、事務局（各学校教頭・主幹教諭、教育委員会職員）

(2) 活動内容（学習支援・安心安全・環境整備・部活動）

○学校教育支援【登録者66名】

※ほかの支援と重複している方あり

〔小中学校における教科等での教育支援〕

・菊づくり、しいたけ栽培、読み聞かせ、クラブ活動、昔遊び、



〔昔遊び〕

1 組織体制の整備

農業体験、福祉体験、休業中の自主学習補助などの学習への支援

[中学校における部活動への指導]

- ・柔道部、剣道部、ソフトテニス部、卓球部、バレーボール部

○環境美化支援【登録者34名】

[小中学校における環境美化活動]

- ・校庭の除草作業、花の苗植え、図書の整理など

○安全安心支援【登録者25名】

[小中学校における安全・安心への支援]

- ・登下校の見守り、防犯看板の整備など

(3) 企業、NPO等と連携した取組

[学校応援団ボランティア研修会

(子供の成長を支える講演会)の開催]

日時 平成28年11月13日(日)

会場 横瀬町立横瀬小学校

対象 支援ボランティア、小中学校PTA、町民

講師 茨城大学教育学部特任教員 長谷川幸介 氏

茨城大学協働のまちづくり研究会 外岡 仁 氏

内容 「子供の発達と3つの力～学力・社会力・自己肯定力～」を演題に、子供が社会化・文化化する仕組みや、江戸の子育てから考える3つの力などを講演していただいた。



〔福祉体験(点字)〕



〔学校応援団ボランティア研修会〕

4 成果と課題

(1) 成果

- ・登録制により支援ボランティアを募り、地域住民への協力を図りながら活動内容を充実させることができた。
- ・人権教育に視点を当てた研修会を通して、地域の子供の人権を守り、成長を支えるために、学校応援団が担うべき役割を再認識することができた。
- ・支援ボランティアとして協力いただいている方たちの意欲や関心を高めることができた。

(2) コーディネーター、ボランティアさんの声(感想)

- ・「児童生徒さんが、気持ちの良い元気なあいさつをしてくれます。自分も元気をもらい、楽しく続けることができています。」
- ・「毎回楽しく学習のお手伝いをさせていただいています。児童生徒さんからお礼の手紙をいただくと、本当に嬉しくなります。これからも、できる限りのお手伝いをさせていただきたいと思っています。」

(3) 課題

- ・支援ボランティアの登録方法の改善と応援団の諸活動の普及に努め、「地域の子供たちは地域で育てる」学校応援団として、一層活性化を図ることが必要である。
- ・支援ボランティアの高齢化に伴い、世代交代をスムーズに行っていく必要がある。

1 組織体制の整備

三郷市立高州小学校の実践

～ 地域と共に歩み、心が繋がる高州小学校応援団の取組 ～

1 実践のねらい

本校は、昭和44年に開校し創立48周年を迎えた。開校以来、保護者・地域（高州・東町地区11町会を中心とした地区）に様々な面で支えられている。地域には「我が学校」の意識が強く、学校との厚い信頼関係を基盤とした学校応援団の取組を実践している。平成21年度の学校応援団創設から8年目を迎え、子供たちの「安心・安全を守る」、「学校環境を整える」、「学力向上の一翼を担う」、「楽しい学校生活を送る」ことを目的とし、学校・家庭・地域が一体となり、地域の「教育力」・「繋がり」を導入し、様々な実践活動を行っている。



2 事業計画（組織及び活動計画）



※主な事業計画

	図書	教科等	お父さん	スクールガード	みどり	リサイクル	漢字算数
1学期	毎週金曜日	担任等の要望に応じて 随時募集 (年間)	運動会	下校見守り (年間)	花いっぱい運動 樹木消毒 (その都度)	毎週金曜日	月1教室
夏休み	図書館開放		除草作業			毎日がりサイクルデー	サマースクール
2学期	毎週金曜日		PTAバザー			毎週金曜日	月1教室
3学期	毎週金曜日					毎週金曜日	月1教室

3 事業内容

(1) 図書ボランティア（読み聞かせ）

高州小の読書活動推進のために、毎週金曜日、朝読書の時間に読み聞かせを行っている。さらに、長期休業中は本の整理や補習、図書館開放日に貸出等を行っている。高州小の年



間貸出冊数17,000冊（1人60冊）達成の原動力となっている。

(2) 学習ボランティア（教科等の補助）

主に家庭科の授業を中心に調理実習補助、ミシンや手縫い等の補助に入り、子供たちの個別対応に当たっている。今年度は、家庭科の他に体育の陸上運動や水泳指導の補助も行った。

(3) お父さんボランティア

運動会の放送設営、テント張り、机・椅子運び、サッカーゴールの移設等の補助、夏の除草・U字溝清掃の協力、PTAふれあいバザーにおける焼きそばづくり、フランクフルトづくり等、技術や力を要する場面で活躍している。

(4) スクールガード（見守り隊）

児童の下校時の見守り活動を実施している。交差点等の全13カ所を約30名の見守り隊の方が毎日、児童が安全に下校できるよう指導している。また、児童と挨拶を交わすことにより、児童の社会性を培う一助となっている。

(5) みどりボランティア

環境委員会の「花いっぱい運動」では、花の苗植えの方法を教えている。また、枝おろしや毛虫等の樹木消毒を定期に実施している。今年度は毛虫の大量発生があったが、即時に対応し、児童の安全を確保することができた。

(6) リサイクルデー補助

毎週金曜日に児童会を中心に行っているリサイクルデー（リサイクル品の回収活動）を、ボランティアの方々が持ち寄ると共に、回収した空き缶潰しや資源の分別等を行っている。

(7) 漢字・算数教室補助（サマースクール）

月に1～2回行われている算数教室及び漢字検定試験の前に行う漢字教室の丸付け等の補助を行っている。また、夏季休業中に実施する「サマースクール」にも算数の指導補助や丸付けを実施している。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・様々な学校応援団による取組を通して、子供たちに「感謝の心」が育ってきている。
- ・保護者や地域の方の教育力が、学校の教育力の向上につながっている。
- ・地域の方の声を聞く機会が多くなり、学校経営を改善する指針の一つとなっている。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ・大きな声で元気に挨拶をしてくれる子が増えて嬉しい。
- ・子供たちが笑顔で感謝してくれることが嬉しい。
- ・学校へ足を向けやすくなった。

(3) 課題

- ・地域人材のさらなる確保、発掘（人数の不足、高齢化等）
- ・学校担当者や地域の方との連携や打合せ等の時間確保の工夫
- ・活動内容の精選と継続（学校のニーズの変化、マンネリ化等）

2 活動内容の工夫

川口市立並木小学校の実践 ～ 地域の教育力を生かした学校応援団の推進 ～

1 実践のねらい

本校は、初代校長の掲げた健康・勤勉・敬愛の校訓のもと、60年以上にわたり家庭・地域・学校が一体となり、学校は児童の学校教育、地域と家庭は家庭教育、それぞれの役割を車の両輪のように互いに力を合わせ、児童の育成に取り組んできた。そして、地域の教育力の中核を担っているのが学校応援団であると考えている。

本校では学校応援団の活動について、地域の教育力を生かしながら組織として自立し、主体的な取り組みを促すようにしている。その時にできることを応援団の側から積極的にアプローチし、児童の活動を支援している。児童は、学校応援団の方々に感謝の気持ちを表し、応援団の意欲の向上にもつながっている。

2 事業計画

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
読み聞かせの会	→			→			→					
声かけ運動	→			→			→					
登下校時安全指導	→			→			→					
図書ボランティア	→			→			→					
側溝清掃除草作業	8月最終土曜日											
おやじの会の取組	→			年間を通して各種行事の運営や手伝い						→		
感謝のつどい											2月第3金曜日	

3 事業内容

(1) 朝の読み聞かせ

並木えほんの会により、毎週月曜日 8:25-8:35 に、毎回10～20名程度の会員の方による読み聞かせ活動や大型紙芝居等の上演を実施している。



3学期には5、6年生を対象に読み語りも実施している。

(2) 声かけ運動

第1第3木曜日の登校時に、地域の民生委員と児童会による声かけ運動を実施している。朝から、児童の元気な挨拶の声でいっぱいになっている。



2 活動内容の工夫

(3) 登下校時の安全確保

地域の老人会（つくも会）の会員により交通量の多い道路や交差点を中心に、見守り活動を毎日実施している。



(4) 図書ボランティア

毎週月・木曜日の2回、図書室の整備や本の補修、蔵書の整理を実施している。また、図書委員会とともに貸出しの補助も実施している。



(5) 側溝清掃除草作業

普段できない運動場周りの側溝清掃や学校敷地内の除草作業を、教職員と学校応援団、学校開放利用団体が協力し合って実施している。



(6) おやじの会の取組

P T Aと連携して、「学校へ泊ろう」や「並木っ子まつり」、「おもちゃつき」等、子供たちが楽しめるような行事を実施している。また、教職員と連携してプール清掃や運動会の準備等の手伝いを実施している。



(7) 感謝のつどい

2月第3金曜日に、日頃の感謝の気持ちを込めて、地域でお世話になっている方々を招待した集会と給食の会食を実施している。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・見守り活動は、児童が安心安全な生活を送る上で、欠かせない活動となっている。
- ・読み聞かせや図書ボランティアの活動は、児童の読書への興味・関心を高める機会になった。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声

- ・応援団としての活動に、やりがいを感じる事ができた。学校を知る良い機会にもなった。

(3) 課題

- ・コーディネーターを中心とした組織作りを確立することによって、学校との連絡調整方法を明確にし、積極的に活用できるようにしていきたい。
- ・学校応援団として活動してくださる方の確保を継続して行っていく必要がある。

2 活動内容の工夫

和光市立第五小学校の実践 ～安全でよりよい学習環境の整備のために～

1 実践のねらい

保護者をはじめとする地域と学校との連携を密にし、各種活動や作業に協力していただくことで、学校の実践を支えていただき、児童の安全やより良い学習環境を整えることができるようにする。

2 事業計画

- (1) 環境支援ボランティアを中心とした学校敷地内外環境整備活動
校内緑化推進・敷地内樹木剪定・側溝清掃活動等、校内環境の充実に向けて植栽や花壇・植え込みの整備をし、緑と花を増やすための活動を行う。
- (2) 安心・安全ボランティアを中心とした校内・校外安全支援活動
校内パトロール・学区内パトロール・登下校安全支援（通学路安全点検含む）を通して、学校内外の安全確保を継続するために、定期パトロールを実施する。また、登下校時の安全確保のための立哨及びパトロールも実施する。
- (3) 学習支援ボランティアを中心とした学習支援活動
低学年を中心とした読み聞かせ・家庭科の実習支援・生活科や総合的な学習の時間の体験活動の支援等を行い、学習サポートを行う。
- (4) 各種行事補助
運動会や学校公開、校内音楽会等の学年行事のサポートを行う。

3 事業内容

- (1) 環境支援ボランティアを中心とした学校敷地内外環境整備活動
チューリップの球根の植え込み及び花苗の植え込みを行い、花壇、プランターを整備した。また、植え込み以外にも、敷地内排水溝の清掃や学校敷地外周の落ち葉清掃なども実施し、学校環境の美化を進めた。



〔花苗の植え込み〕



〔落ち葉清掃〕



〔側溝清掃〕

- (2) 安心・安全ボランティアを中心とした校内・校外安全支援活動
安全・安心ボランティアの協力のもと、学校敷地内の安全パトロールを継続して実施した。また、安心・安全コーディネーターの支援・調整により、登校時には各通学

2 活動内容の工夫

地区の通学路の立哨を、一斉下校時には通学路安全点検とともにパトロールを実施した。

(3) 学習支援ボランティアを中心とした学習支援活動

毎週月曜日の朝、8時30分から45分までの15分間、学習支援ボランティアの協力により1～3年生の各教室で読み聞かせを実施した。また、家庭科でのミシンを使った実習や、生活科・総合的な学習の時間における体験活動の支援も行った。



〔読み聞かせの支援〕



〔家庭科実習の支援〕



〔総合的な学習の時間の支援〕

(4) ボランティアによる各種行事補助

運動会や学校公開等の学校行事や2年生の子供安全教室、4年生の自転車免許教室等に係る支援、五小まつり開催への協力を行った。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・環境支援ボランティアにより、年間を通して花や緑が溢れる心豊かな環境を整えることができた。
- ・安心・安全ボランティアの校内的見回りや登下校児童への声かけにより、児童の安全への意識を高め、不審者対策や通学路の安全点検に役立った。
- ・学習支援ボランティアの読み聞かせや活動補助により、学習活動の充実が図られ、児童の学習意欲を高めることができた。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ・側溝の掃除は実際にやってみて大変だと感じました。学校の先生方の大変さが分かりました。子供たちの環境を少しでもよくできるよう、協力していきたいです。
- ・読み聞かせの後で、「いつもありがとうございます」「今日の本、おもしろかったです」などの声を聞くと、読む方も嬉しくなり元気がもらえて、次はどんな本を読もうかと、本選びも楽しくなります。
- ・学年行事のサポートでは、親もいろいろな情報や知識を得ることができました。子供たちと一緒にいろいろ学べて、家でも共通の話題ができて良かったです。

(3) 課題

より効果的な活動にしていくため、いつ、どんな内容でどんな支援をしていただくのかを明確にし、活動内容のさらなる充実と活性化を図る必要がある。また、学校応援団の人員確保に向けて、応援団同士の交流を深めたり、学校応援団の活動を保護者や地域に周知したりすることで、さらに応援団を増やしていけるよう取り組んでいく。

2 活動内容の工夫

北本市立南小学校の実践 ～できる人が、できる時に、できることを～

1 実践のねらい

本校の学校教育目標『～みんな なかよく みどりの学校～かしこく げんきな 南っ子』を実現するためには、学校・家庭・地域社会が一体となり、児童の育成に取り組む必要がある。そこで、本校では、児童の学習活動や校内の環境整備等を充実させることを目的として、保護者・地域住民による協力体制として学校応援団を組織し、活動を推進している。学校応援団の活動を通して、地域の教育力を生かし、児童の健全な育成を図るとともに、学校を中心として家庭や地域社会の教育力の向上を目指す。

2 事業計画

平成19年度に「元気な学校をつくる地域連携推進校」として研究に着手した体制を基盤とし、これまでの実践を踏まえ、今年度の取組を以下のように計画した。

月	活動内容
4月	・学校応援団組織編成
5月	・委嘱状交付式 ・学校応援団の活動内容の概要説明 ・委嘱状の交付 ・連絡方法の調整
6月	・EM培養液作り ・グランドゴルフ
7月	・夏休み算数教室 ・学校図書館書架整理
9月	・家庭科ミシン補助 ・陸上練習
10月	・電動のこぎり補助 ・両刃のこぎり補助
11月	・家庭科調理実習補助 ・昔遊び体験
12月	・学校図書館書架整理
1月	・昔の生活お話会 ・来年度の募集
2月	・かまど炊き体験 ・感謝の会
3月	・学校図書館書架整理
通年	・環境整備（花壇・樹木） ・野菜の世話 ・トイレ清掃

3 事業内容

(1) 学習応援団

ア 学習支援

夏季休業中に行われる算数がんばり教室において、基礎的・基本的な内容の定着を図ることができるよう、プリントのまる付け及び個別の学習支援等の指導補助を行っている。



イ 実習支援

図工や家庭科の実習において、のこぎりやミシン等の道具を正しく安全に扱い、課題に応じた作品づくりができるように補助支援を行っている。

ウ 体験活動

野菜づくりやEM培養液づくりなどの体験活動や陸上競技のゲストティーチャーとして、専門的な技能・技術の指導を行っている。



(2) 環境応援団

校内の樹木や花壇の手入れ、児童用トイレの清掃など、美しい学校づくりのために環境整備を行っている。

(3) 図書館応援団

本の修理や書架の整理、図書カードの集計や図書室の飾り付けなど図書館指導員と連携しながら学校図書館の環境整備を行う。



4 成果と課題

(1) 成果

- 学習応援団の活動によって、地域の教育力が取り込まれ、子供たちがより専門的な知識・技能を身に付けることができた。また、安全にかつ計画的に実習を実施することができた。
- 環境応援団の活動によって、校内の生活環境が整備され、子供たちが衛生的で、明るく気持ちのよい学校生活を送ることができた。
- 図書館応援団の活動によって、学校図書館が活性化され、子供たちの読書への興味関心の動機付けとなった。
- 学校応援団の活動全体を通して、地域の方と子供たちが、気軽にあいさつや語り合える良い人間関係づくりを構築することができた。

(2) 児童・コーディネーター・ボランティアの声（感想）

- ぼくは、めんこはねつきを どうやって やるのか わかりませんでした。（応援団の）先生に教えてもらって できるように なりました。なんかいも やりました。すごくおもしろかったです。（昔遊び体験参加児童）
- 将来の日本を背負う子供たちの手伝いができ、毎日楽しく活動しています。地域で子供の成長を見守っていきたいです。（学校応援団コーディネーター）
- 学校応援団としてミシンボランティアを行いました。保護者とは別の立場で参加することにより、良い意味で距離感をもって子供たちとより良いコミュニケーションをとることができました。（学習応援ボランティア）

(3) 課題

- 学校応援団の新規加入者が減少傾向にある。新たな応援団員の加入を促進する必要がある。
- 学校応援団の運営について、学校応援コーディネーターと連携し、連絡調整体制を改善していく必要がある。



2 活動内容の工夫

飯能市立加治小学校の実践 ～家庭・地域の連携による教育支援活動～

1 実践のねらい

本校は、今年度創立108年を迎えた歴史ある学校である。保護者や地域の方でも卒業生が多く、学校行事の応援など本校の教育に協力をしてくださる方も多い。また、加治地区には、幼稚園・中学校・高校・大学もあり交流もしている。

本校の学校応援団は、以下のねらいで活動を推進している。

- ・地域や保護者の応援と組織づくりで、本校の教育活動をより充実させる。
- ・子供たちに体験活動の機会を得ることで、コミュニケーション能力向上や豊かな心を育てる。
- ・地域住民が教育活動に携わることで、児童が安心した生活と地域の絆づくりにつなげ、地域の教育力を向上させる。

2 事業計画

学期等	学習支援活動	環境整備	安心・安全
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター会議（組織づくり、応援団募集について） ・読み聞かせボランティア ・地域自然散策指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・花ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の安全見守り、立哨指導（年間通して）
夏季休業日	<ul style="list-style-type: none"> ・プール監視補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭整備作業 ・花ボランティア 	 <ul style="list-style-type: none"> ・加治ウォークラリー見守り安全 
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンボランティア ・森林学習支援（大学） ・加治小ウォークラリー補助 ・生活科地域巡り補助 ・高校生による陸上競技指導 ・おはやし指導 ・地域自然散策指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇整備ボランティア ・（臨時募集をかけ）落ち葉はき整備作業 	
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科昔遊び体験補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸ボランティア活動 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター会議、学校応援団感謝の会 		

3 事業内容

(1) 学習への支援

- 2学期に5年生家庭科の時間に、地域の方や保護者の方に来ていただき、ミシンの使い方やきれいに仕上げるアイデアなどを教えていただいた。
(学習支援ボランティア)



〔ミシンの使い方を教える学習支援ボランティア〕

- 1・2学期に4年生の総合的な学習の時間に、地域の方を指導者に迎え、近くの河川に生きる鳥や魚、草花などを観察しながら地域の良さを発見した。

(2) 環境整備への支援

- 花壇の草むしりをはじめ、児童だけでは手に負えなかった草花、木々など環境整備を行った。
(花ボランティア)



(3) 安心・安全への支援

- 課業日、児童の登下校の時間に合わせ見守り活動を行っている。多くの児童たちに声を掛け、様子も見て気になることがあれば学校職員にも話している。
(登下校の見守り隊)



〔登下校の見守り隊〕

4 成果と課題

(1) 成果

- 児童が意欲的に学習に取り組み、学習を深めることができた。同時に、いろいろな方と接する機会が多くなり地域の大人を知る機会となった。
- 「学校・家庭・地域の連携」体制が作られてきた。また、児童と接することが自己の元気や活力につながり、『やりがい』を感じている方も多くなってきた。
- 読み聞かせボランティアに興味を持っている方が多くなり、活動も活発になった。
- 落ち葉はきのボランティアをその時期に募って活動してみると、「普段参加できないから来た。」など、参加される方も少なくないことが分かった。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声(感想)

- 保護者同士や保護者と地域の方との接点があった。(花ボランティア)
- 「ありがとう」の言葉や「おはようございます」等の挨拶で元気をもらっている。
(登下校の見守り隊)

(3) 課題

- 十分な事前打合せと事後の反省の時間を確保することが難しい。
- 学校応援団の活動の発展及び継続のために、協力していただける方を増やす方法。(募集したり、授業参観日の昼休みに読み聞かせボランティアを行い、保護者にも活動の様子を見てもらったりした。)

2 活動内容の工夫

三芳町立三芳小学校の実践

～学校応援団の取組を通じた児童の多様な体験活動の推進～

1 実践のねらい

学校・家庭・地域が一体となり児童の育成に取り組むことにより、児童の多様な体験活動を推進する。また、学校応援団の取組をとおして、学校・家庭・地域の連携並びにそれぞれの教育力の向上を図る。

2 事業計画

	1 学期	2 学期	3 学期
学習活動支援	朝読書の時間の読み聞かせ	家庭科支援（5年、6年の裁縫） （9月20日～10月28日） 書き初め支援 （11月17日～12月14日）	→
環境美化支援	校舎内外の環境整備（定期的な除草、水やり） 土壌整備、樹木の剪定 （7月25日）	花壇の土壌整備、花の植え替え （11月24日）	→
安全安心支援	下校の見守り（スクールガードリーダー、民生委員等による定期的な下校時の見守り活動）	学校行事立哨活動 （9月17日、10月15日、11月4日） 2年生活科町探検班別活動の立哨指導 （11月7日）	→

3 事業内容

(1) 学習活動への支援

ア 朝読書の読み聞かせ

児童が多様な本にふれ、心豊かに育つことを目指し、原則毎週金曜日の朝に行く。担当するメンバーは「よむよむポケット」とし登録している。活動後は、メンバー

2 活動内容の工夫

で振り返りを行い、気づきを次回の読み聞かせに活かして下さっている。

イ 家庭科授業支援（平成28年度 20回）

6月1日付文書で、全家庭と地域回覧で授業支援等について呼びかけたところ、8名の保護者の方が支援を申し出てくださった。5年、6年の学年主任と支援者との打ち合わせを行い、20回家庭科の支援を実施した。延べ人数45名の方に参加いただき、家庭科の作品づくりの支援に尽力していただいた。



(2) 環境美化への支援

ア 環境整備

P T A緑化委員会で定期的な水やりや花の植え替えを行っている。また、水やりの前に除草作業も実施している。

イ 土壌整備、樹木の剪定

6月1日付文書で7名の保護者の方が支援を申し出てくださった。夏季休業中に土壌の整備、樹木の剪定等を行い、11月にパンジー苗の植替えを実施していただいた。



(3) 安全安心への支援

ア 登下校の見守り

児童が安心、安全に下校できるよう、1～2年児童の下校時を中心にスクールガードリーダーの皆様や民生委員の皆様に見守り活動をしていただいた。

イ 学校行事の立哨活動

運動会、音楽会、授業参観等の学校行事の折に、地域にある商業施設等で立哨活動を行い、交通整理や迷惑駐車防止を呼び掛けていただいた。

ウ 2年生生活科の校外学習（町探検）の際、班別活動時の安全確保として、交通量の多い交差点で立哨活動を行っていただいた。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・授業に限らず、児童に関わる部分で様々な活動を展開して下さっていることにより、児童が学校応援団の皆さんに対して「あいさつ」等、しっかりできるようになった。
- ・学年、学級を問わず支援をしていただくことで、児童の授業への取組が意欲的になってきた。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ・子供たちが元気にあいさつしてくれるので、また次も頑張ろうという気になります。（学習支援の方）
- ・時間の許す限り、子供たちの役に立ちたいと思います。（環境整備の方）

(3) 課題

- ・登録して下さる方が増える様に、5月の初旬に登録を呼びかけるとともに、年間を通して呼びかけるようにしていきたい。
- ・内容ごとに、コーディネーターを依頼するなど、連絡調整をよりスムーズに行い、学校・家庭・地域の連携を深め教育力の向上を図っていきたい。

2 活動内容の工夫

毛呂山町立川角小学校の実践 ～保護者や地域に信頼される学校づくりをめざして～

1 実践のねらい

本校は創立143年目を迎え、地域の学校として古い歴史をもつ。しかし、近年の社会の変化に対応するため、学校のもつ役割は大きい。

その中で学校教育目標である「豊かな心、たくましい体、考える力」の具現化にあたり、子供たちの学習や生活に関しても形式にとらわれずに目の前の子供たちに合わせた指導が求められている。さらに、地域の実情から、安心・安全の観点からも校内だけの視点にとどまらず、登下校等を含めて、地域での見守りの必要性が大きくなってきている。

このため、現在、「安全」「学習」「環境」「図書」の4分野において、保護者や地域の方々の教育力を生かし、自然環境、教育環境づくりや、子供たちの安心・安全への見守り等の応援をしていただいている。

2 事業計画

月	活動内容
5月	主旨並びに年間活動計画の確認
4月～3月（年間）	見守り活動の開始（登下校）
5月～2月（年間）	学習活動の支援活動の開始（読み聞かせ）
5月～11月	学習活動の支援活動の開始（環境・菊作り）
6月～10月	学習活動の支援活動の開始 （米作り体験 田植え・稲刈り・脱穀）
7月・12月	学習活動の支援活動（町探検）
9月	学習活動の支援活動（運動会）
4月～3月（年間）	学習支援活動開始（移動図書館貸し出し）
11月～12月	学習活動の支援活動（ミシン）
12月	学習活動の支援（書き初め）
3月	感謝の会（応援団並びに教育活動に協力していただいた方々）

3 事業内容

(1) 活動内容

ア 学習活動への支援

読書活動の推進のための全学年対象の「読み聞かせ」「ブックトーク」並びに定期で学級文庫を入れ替える「川小文庫」「移動図書館貸し出し」が行われている。

5年生の社会科の学習のための体験学習の「田植え」「案山子立て」「稲刈り」「脱穀」。2年生の生活科の学習の「町探検」。裏方で運動会を支えてくださる「交通整理」。5・6年生の家庭科の学習を支えてくださる「ミシンを使った学習」「書き初め指導」等、様々な学習で支援をいただいた。

2 活動内容の工夫

イ 学校環境整備の支援

環境作りのための5・6年生委員会活動による「菊作り」を支援していただいた。

ウ 学校安全の支援

毎日の登下校の見守り活動により、児童の安全確保に支援いただいた。

(2) 地域との交流（体験活動を中心とした取組）

感謝の会では、応援団をはじめ様々な方に参加していただいた。児童は感謝の言葉を述べ、参加者からも言葉をいただいた。



4 成果と課題

(1) 成果

- ア 学習支援活動により、児童の学習への意欲・関心・態度が高まった。
- イ 読書が好きな児童が増えた。
- ウ 多くの手による学習支援活動で学習の成果が上がった。
- エ 交流を通して、人間関係が深まりあいさつができるようになってきた。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ア 学校の外でも、あいさつをしてくれる。
- イ 毎回、子供たちが熱心に聞いて楽しんでくれている。こちらも楽しい。
- ウ 学年が違って、子供たち同士の仲が良いという印象がある。

(3) 課題

- ア さらなる活動充実の工夫並びに応援団員の増加の工夫。
- イ 活動に際しての予算の確保並びに年度当初から予算を執行できる方策。

2 活動内容の工夫

小鹿野町立小鹿野小学校の実践

～ 家庭・地域の連携による教育支援活動 ～

1 実践のねらい

本校では、「学び合い 高め合い 認め合い 夢と希望を育む小鹿野小学校」を目指す学校像として掲げ、児童が生き生きと活動する学校、家庭や地域社会が信頼できる学校、安心・安全で美しく整えられた学校の実現を図っている。実現に向けて、開かれた学校づくりを推進し、学校応援団をはじめ、家庭や地域の皆様の支援や協力をいただき、地域の教育力を生かした学校と地域が一体となった教育活動を実践する。

2 事業計画

名 称	活 動 内 容
コーディネーター会議	年間の学校応援団の活動について計画や調整を行う。
学習支援ボランティア	教科の学習や総合的な学習の時間において、児童の学習のサポートを行う。
読み聞かせボランティア	第1・3木曜日の朝学習の時間を使って、各学級で本の読み聞かせを行う。
図書支援ボランティア	毎月1回、図書支援員とともに読書活動の充実に向け、本の修理や図書室の環境整備に取り組む。
安心・安全ボランティア	横断歩道や見通しの悪い交差点等で、児童の登下校を見守る。

3 事業内容

(1) 学習支援ボランティア

総合的な学習の時間では、体験活動を取り入れた学習を実施している。車いすやアイマスク等を使った福祉体験学習や、グラウンドゴルフを通じたお年寄りとの交流活動等、様々な活動が充実している。中でも稲作体験については、学校応援団の方に、田植えの仕方、稲刈りのコツ、脱穀の仕方等を直接教えていただき、児童にとって大変貴重な活動となっている。

学校の授業ばかりでなく、夏休みや土曜日にも協力をいただいている。夏休みには、文化センターにおいて「夏休み学習会」を開催し、低学年と高学年に分かれて、夏休みの宿題や参考書を持ち寄った児童たちに優しくアドバイスをいただいている。10月～2月に開催される「土曜日お楽しみ会」では、昔の遊びや伝統料理づくりなど普段



2 活動内容の工夫

ではできない体験プログラムを組んでいただいている。

(2) 読み聞かせボランティア・図書支援ボランティア

毎月、第1・第3木曜日の朝の時間を利用して、児童への読み聞かせの機会を設けている。学校応援団の方がその学年の発達段階に合った本を選んで、工夫を凝らした読み聞かせを行っていただいている。児童たちは毎回楽しみにしており、読み終わった後は、落ち着いた気持ちで授業に入ることができている。また、月1回、図書支援ボランティアの皆様

に、図書室の整理・整頓や季節に応じた掲示物の作成等、読書活動の充実に向けた活動を行っていただいている。



(3) 安心・安全ボランティア

本校は、小鹿野町の中心部に位置し、児童は商店街やその裏通りを歩いて通学している。また、山がちな場所から通う児童もあり、不審者や野生動物の出没も心配される。応援団の方には、朝の登校時刻には、交差点等において児童の安全と安心を守っていただいている。また、6月には登校班に入り、学校まで児童と一緒に歩いて登校していただき、登校の様子を見守ってもらっている。その後、懇談会を開催し、登校や地域での様子等について情報提供いただき、課題について話し合い、連携を深めている。



4 成果と課題

(1) 成果

様々な学習場面や登下校の見守り等、地域の方と交流を持つことで、児童は自分たちが地域と深く関わっていることを実感し、たくさんの支援を受けていることに感謝の気持ちを覚えている。教師の力だけでは実現できない貴重な体験を児童にさせることができ、学習効果の向上にもつながっている。何よりも、学校と家庭・地域との連携が深まり、地域の支援のもと、地域に根ざした教育活動が展開できている。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

○子供たちが元気に明るく活動する姿が励みになっています。活動を通して、学校に対する理解だけでなく、保護者同士の連携も深めることができました。

○通学班の班長が下級生の面倒をよく見ている。今後、あいさつや安全な自転車の乗り方について更なる指導をお願いしたい。

(3) 課題

学校応援団の活動を発展及び継続していくためにも、新規に協力いただける方を広く募集し、活動の幅を広げたり内容の充実を図ったりしながら、ますます活動を盛んにしていきたい。

2 活動内容の工夫

行田市立南小学校の実践 ～地域人材の活用による教育活動の推進～

1 実践のねらい

学校の教育活動において、学校応援団の果たす役割は年々大きくなっている。子供たちの登下校の見守りや学習支援、また校内環境の整備などなくてはならない。本校においても、以前から登下校の見守りや読み聞かせ、紙芝居など「ボランティア」として活動いただいていたものを学校応援団として組織化した。また、一昨年度より三つの応援団として再組織化し、積極的な活用を推進している。学校・家庭・地域が一体となった教育活動の推進により子供たちは明るく健やかな成長を遂げ、豊かな心を育むことができている。加えて、教職員が子供と向き合う時間を確保できるなど、学校応援団の活用の効果は大きい。今後も地域人材の活用による教育活動を推進し、学校運営を工夫・改善させていく。

2 事業計画

- (1) コーディネーター連絡協議会…年間活動計画の立案、コーディネーター・各団長の選定
- (2) 学校応援団全体会議…年間活動計画の確認
- (3) 学校応援団の活動開始
- (4) 次年度学校応援団の募集



3 事業内容

(1) 学習応援団の活動

ア 本の読み聞かせ

朝の活動時間に行う読み聞かせは子供たちの心を豊かにしてくれる。また、図書ボランティアの方が来る日を子供たちも楽しみにしている。



イ 食育紙芝居

年間7回、食育に関する紙芝居を実施している。学年に応じて、食べることの大切さや食物の栄養価について紙芝居を通して学んでいる。



ウ 1年生生活科 昔遊び指導

コマ回し、けん玉、あやとり、お手玉、おはじきなど昔遊びを応援団の方に指導してもらう。

エ 3年生社会科 昔の暮らし・七輪の使い方指導



昔の暮らし体験として七輪の使い方を指導していただいている。炭に火を付けたり、餅を焼いたりするなど貴重な体験学習となっている。

2 活動内容の工夫

オ 中学生のサマースクール応援団

夏季休業中、中学生の学習ボランティア（行田中学校の1年生）にサマースクールの学習支援をお願いしている。多くの生徒の参加をいただき、効果的に学習を進めることができた。



(2) 環境応援団

P T A会長を中心に保護者が校内の除草、枝の剪定など実施している。特に、夏季休業中は親子除草として実施し、親子のふれあいの場ともなっている。その他に運動会の入場門やテントの設置など協力いただいている。



(3) 見守り応援団



通学路の主要な横断箇所立哨していただき、登校指導をお願いしている。また、低学年の下校時には子供たちの引率をお願いしている。多くの応援団の方に協力をいただき、安全指導とともにあいさつや声かけをしていただいている。

4 成果と課題

(1) 成果

- コーディネーターや応援団長の方から学習支援を気にかけるなど協力的である。また、体験学習などに応じて必要な応援団を集めてくれるので大変ありがたい。
- 読み聞かせや食育紙芝居は何年間も学習支援を続けていただいている。子供たちは温かい気持ちになり、落ち着いて生活をスタートできる。
- 学校応援団と接することで子供たちは地域に見守られ、大切にされているという意識をもつことができています。
- 登下校の見守りのおかげで交通事故が発生していない。また、登下校時のあいさつや声かけは地域の大人を知る機会にもなっている。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- 子供たちと接することは気持ちの良いことで、子供たちから元気をもらっている。
- 子供たちから元気なあいさつが返ってこない。上級生から元気にあいさつしてほしい。学校は指導とともに家庭に呼びかけてほしい。

(3) 課題

- 学校応援団を再組織化して期間が浅いので、協力体制を確立する必要がある。
- 学校の要望する教育支援には学校応援団ができる内容とできない内容がある。学習応援団の登録数を増やすなど協力を求める必要がある。
- 環境応援団は十分とは言えない状況である。保護者に積極的に入っていただくなどをして、学校の環境整備の協力を今後要望していきたい。
- 地域人材の発掘がまだ十分とは言えない。多くの方に参加いただけるよう、学校応援団の登録を地域に呼びかけていく。

2 活動内容の工夫

蓮田市立蓮田北小学校の実践

～地域の教育資源の活用と連携を生かした学校づくり～

1 実践のねらい

本校は開校143年を数える伝統がある。そのため、地域には世代を超えて学校に関わる家庭が多くあり、保護者、地域から数々の理解と協力をいただいている。その中で学校応援団が結成され、多方面における活動が行われており、学校教育に寄与いただいている。

学校としては、そうした地域性を生かし、地域の教育資源の活用と連携により、さらなる教育活動の展開や豊かな心の育成を図っていく。また、学校応援団からは、子供たちが地域で生きる人材になっていくこと、併せて学校教育の裾野が広がっていくことが望まれている。

2 事業計画

【学習】、【安全】、【環境】の3部門に分かれて、それぞれの活動を行っている。

	学 習	安 全	環 境
年間	お話会	登下校見守り	
4月	梨園見学指導		
5月			除草作業
6月	田植え指導		
7月	全体集会 そろばん補助 サマースクール補助	全体集会 通学路危険箇所確認	全体集会
8月			除草作業
9月	稲刈り指導 ミシン作業補助		
10月	P T Aバザー協力 脱穀指導 ミシン作業補助	P T Aバザー協力	P T Aバザー協力
11月			
12月	ありがとう集会出席	ありがとう集会出席	ありがとう集会出席
1月	式三番(地域伝統芸能) 山ノ神沼(環境学習) 指導		
2月			校内外施設整備
3月			

3 事業内容

(1) 【学習】学習活動への支援

地域にある環境を生かした体験活動への支援、指導をいただいている。3年生は梨園見学による学習、5年生は田んぼを借用した米作り体験を、それぞれに専門的な方から指導をいただいている。

また、学習時期に応じて支援をいただいている。特に、地域の伝統芸能である式三番については保存会の方の協力をいただき、3年生の学習や放課後子供教室に協力いただいている。



(2) 【安全】毎日の児童の見守り

毎日の児童の登校に付き添い、安全を見届けていただいている。さらに安全面だけでなく、登校の様子から児童に心配な面が見受けられた場合は、学校に連絡をいただいております。児童への対応や指導に生かされている。

7月の全体集会時には、通学路の危険箇所について検討いただき、関係各機関への要望に生かされている。

(3) 【環境】児童が活動しやすい環境の整備

5月の運動会前、夏季休業中の2学期の開始前に除草作業を行っていただいている。また、普段、手が届かない箇所の校内環境整備に力を発揮していただいている。これまでにトイレの清掃やロッカーの整備、校庭の整備（危険箇所の解消等）を行っていただいた。



4 成果と課題

(1) 成果

- ・様々な方々の支援を受けていることから、児童は地域の方に支えられていることに気づき、感謝の気持ちが育まれた。
- ・学習活動の充実が図られ、児童の学習意欲の向上が見られた。
- ・学習支援では専門的な指導が得られ、教員の負担が軽減されている。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ・子供たちと一緒にいると元気をもらうことができる。
- ・ありがとう集会で手紙をいただき、逆にこちらが感謝している。

(3) 課題

- ・メンバーの増員。また幅広い年齢層にわたる構成が理想であるが、偏りが生じている。
- ・活動の充実を図ること。また学校の指導計画に合った支援補助の検討が必要である。

3 地域に根ざした活動

鴻巣市立広田小学校の実践 ～ 地域とのつながりを大切にした取組 ～

1 実践のねらい

学校教育目標「心豊かなあかまつの子の育成」の具現化には、学校だけでなく、家庭・地域の理解と協力が不可欠であり、コーディネーター（PTA会長兼任）を中心に学校応援団の組織化を図り、学校・家庭・地域が一体となって教育活動に取り組むことをねらいとしている。

特に、本校の一番の課題である学力向上を図るため、学校応援団による学習支援を効果的に活用したり、安全な学習環境の整備や豊かな体験活動のための支援を充実させたりしている。さらに、児童と地域の方々との交流を通して、地域の良さや伝統に触れ、地域に愛着を持つ心豊かな児童の育成を目指している。

2 事業計画

学校応援団の年間計画

月	活動内容
年間	除草作業 読み聞かせ 登下校指導 畑の管理
4月	
5月	校外学習引率支援（3年） 花のフェスティバル
6月	ささら龍頭舞の指導（4年）まち探検引率支援（2年）校外学習引率支援（1年）
7月	ザリガニ釣り引率支援（2年）
8月	親子除草作業
9月	校外学習引率支援（3年）
10月	図書館見学引率支援（2年）校外学習引率支援（1、3年）ミシン学習の支援（6年）
11月	↓ 学校公開日の手伝い 持久走大会の安全指導 まち探検引率支援（2年）
12月	ミシン学習の支援（5年）
1月	昔遊び体験（1、3年）
2月	感謝の会
3月	

3 事業内容

(1) 活動内容

ア 学習活動への支援

- ・読み聞かせ 学期2回（年間6回）
- ・夏休み4～6年生対象の学習支援（サマースクール）
- ・道徳のゲストティーチャー、昔遊びの指導など
- ・校外学習の引率支援（各学年）
- ・ミシン学習の支援（5、6年生）

イ 環境整備の支援

- ・校庭の除草作業、畑の管理



〔まち探検引率支援〕



〔昔遊びの指導〕

3 地域に根ざした活動

(2) 地域に根ざした活動（地域交流を中心とした取組）

ア ささら龍頭舞の指導（4年）

4年生の総合的な学習の時間では、「ささら龍頭舞に挑戦しよう」の学習を6月から11月まで、週2時間程度実施している。地域のささら保存会の方に、棒使い・笛吹き・龍頭舞・唄上げの指導をしていただき、その学習の成果を秋の学校公開日に全校児童、地域の方々に公開している。学習を通して、児童は地域の方との交流や地域の伝統のすばらしさを肌で感じている。



〔ささら龍頭舞〕

イ 読み聞かせ（全学年）

川里図書館と連携しながら学期に2回、読み聞かせを行っている。朝の読書タイムの時間に、読み聞かせボランティアの方による絵本や紙芝居、パネルシアターなどを行い、児童に本を読む楽しさを味わわせ、豊かな心を育成している。



〔読み聞かせ〕

4 成果と課題

(1) 成果

学校応援団による学習支援により、児童の教育活動に多くの方々に関わることで、個に応じた指導や、地域の特色を生かした指導を行うことができている。特に地域の伝統である「ささら龍頭舞」の学習では、4年生で体験したことにより、5、6年生、中学生になって、地域の神社で行われる行事に積極的に参加する児童がおり、地域の伝統の継承にも大きな役割を担っていると感じる。

また、校外学習の引率の支援をしていただくことにより、児童の安全の確保をすることができ、学習効果が高まっている。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

読み聞かせボランティアの方からは、「どの子もよく話を聞いていて、とてもやりがいを感じる。」との声が聞かれた。ささら龍頭舞を指導してくださった方からは、「棒使いの子は大きな声を出して立ち回りの披露が良くできた。どの子も一生懸命に練習していた。」とお話をいただいた。「地域の伝統を続けていくには、子供たちが『ささら』に興味をもって親しんでくれるのが一番。授業がそのきっかけになる。」という声もあった。

(3) 課題

本校には学校応援団の方が集まる部屋がないため、話し合いなどを円滑に進める工夫・調整が必要である。また、学校応援団の高齢化により、前年と同様の支援をいただくのが難しい場合がある。人材の確保は大きな課題である。

3 地域に根ざした活動

新座市立陣屋小学校の実践

～ 地域や保護者と共にあるコミュニティ・スクール陣屋 ～

1 実践のねらい

「地域や保護者と共にあるコミュニティ・スクール陣屋」の推進のために、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを構築し、教員の子供と向き合う時間を確保すること、家庭・地域の教育力の活性化を図ること及び教育環境に潤いを持たせることをねらいとしている。

2 事業計画

学校応援団	主な活動内容	活動時期
学習ボランティア	学習教室でのプリントの採点補助	夏季休業、学期末
	裁縫実習や調理実習の支援等の補助	2 学期
	漢字検定・算数検定の試験監督	3 学期
読み聞かせボランティア	「おはなしびっくりにばこ」として、業前の時間に読み聞かせを実施	毎月 1 回
図書掲示ボランティア	図書室を季節の趣を取り入れた掲示物やペーパークラフトで飾り、読書環境・学習環境を整備	年間 6 回程度
学校安全ボランティア	登下校時、通学路の見守り活動を実施	常時
環境美化ボランティア	中庭等の花壇に季節ごとの花苗の植栽の実施	6 月・1 1 月
	大掃除週間に合わせて教室の清掃補助	毎学期末
クラブ活動支援ボランティア	和太鼓、茶道、アンサンブルの各クラブに外部指導者が関わり、専門的な指導を実施	年間 1 8 回
陣屋小 おやじの会	固定遊具塗装、廊下等の清掃等教育環境整備	随時
	防災キャンプの実施	8 月
	校内音楽会を市民会館で実施する際の楽器運搬	1 0 月

3 事業内容

(1) 学習活動への支援

陣屋っ子の学力向上を目指し、学習支援ボランティアによる学習教室を夏季休業中に 5 回、2・3 学期末に各 1 回の年間計 7 回、実施している。学習教室は自由参加であるが、毎回 1 0 0 名～2 0 0 名の参加がある。内容は、学年毎に作成されている本校独自の国語、算数のチャレンジプリントや漢字・計算等のプリント学習が中心であり、採点を保護者や地域のボランティアが実施している。また、夏季休業中の学習教室では、進学先の新座中学校の生徒もボランティアとして参加しており、学区全体で陣屋っ子たちの学びをサポートする体制が図られている。

(2) 安心安全への支援

本年度初めての試みとして、おやじの会の主催による「防



〔学習支援ボランティア(保護者)〕



〔学習支援ボランティア(中学生)〕



〔防災キャンプ(非常食喫食)〕

3 地域に根ざした活動

「防災キャンプ」を、6年生対象に8月6日（土）～7日（日）にかけて実施した。体育館での宿泊体験を柱に、防災講座、心肺蘇生講習、非常食喫食体験等を行い、災害時における避難所での体験をすることができた。



【防災キャンプ(宿泊体験)】

(3) 環境整備への支援



【図書ボランティア(掲示物作成)】

図書掲示ボランティアは、春には桜、冬にはクリスマスなどのテーマで季節ごとに工夫された掲示物を作成、掲示して図書室を明るく、楽しげな雰囲気になっている。図書室へ来室する意欲が高まり、貸し出し冊数も年々増加している。



【環境美化ボランティア(植栽)】

環境美化ボランティアは、主にPTAの環境美化部の取組として年2回、中庭のスモールガーデンを中心に花の植栽を行い、校内に彩りを加えている。本年度は、春から夏には日々草、秋から冬にはパンジーの植替えを実施し、学校中の花壇には、年間を通して花があふれていた。また、学期末には「親子清掃」として子供だけでは行き届かないベランダや窓などの掃除を実施した。

おやじの会では、固定遊具のペンキ塗装補修や校舎内の廊下の清掃(ワックスがけ)等を実施し、教育環境の保全と整備に継続して取り組んでいる。

(4) クラブ活動への支援

クラブ活動支援ボランティアは、本校の特色あるクラブ活動を支える取組となっている。茶道クラブは、平林寺の向かい側にある国の登録有形文化財(建造物)でもある古民家「睡足軒」で活動しており、新座市茶道連盟の先生方による作法の指導を実施し、11月には一般市民や観光客にお点前を披露した。また、和太鼓クラブは、地域の演奏団体の方による指導をいただき、地域のお祭りや市教委主催の教育シンポジウム等で発表する機会を得ており、地域に根ざした教育活動となっている。



【茶道クラブ】



【和太鼓クラブ】

4 成果と課題

(1) 成果

家庭や地域の教育力を活用して、学習活動や校内環境が充実し、花と緑で潤い、子供の作品にあふれ、整理整頓された教育環境の中、児童の学習意欲が高まっている。また、防災キャンプ等の特色ある活動を推進することができた。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声

学習教室事業の着実な実施により、中学生の学習ボランティアも定着してきている。本校の卒業生以外の生徒も多く参加しており、小学生の学習支援をすることで有用感を得ている。

(3) 課題

コミュニティ・スクールの制度を周知し、認知度を高めることが課題である。保護者や地域の方々にアンケート等を実施し、さらなる地域の人材の活用方法や協力、支援体制を拡大していく。

3 地域に根ざした活動

狭山市立御狩場小学校の実践

～ 自信と思いやり（家庭・地域とともに） Dream & Smile ～

1 実践のねらい

家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、児童の自己肯定感を高め「自信と思いやり」のある子の育成を図る。その鍵となるのが、学校・家庭・地域が一体となった学校応援団活動であり、活動・内容の深化・継続を通して家庭・地域の教育力の活性化をめざす。

2 事業計画

学校の教育課程に沿って、取組事業ごとに見通しを持った活動を企画運営する。

通年の活動

- ・算数スキルボランティア（毎週木曜日 朝自習時の正解の確認〔丸付け〕）
- ・図書ボランティア（毎週金曜日 図書の整理・修理等、月1回の読み聞かせ）
- ・登下校安全見守り（課業日）・夜間パトロール（毎週土曜日）
- ・みかりばっ子放課後教室（年間10回 金曜日）

1 学期

- ・お茶摘み体験
- ・国際理解
- ・サマースクール

2 学期

- ・学習支援ボランティア ミシンボランティア グランドゴルフ 福祉体験
環境整備 書き初め 琴演奏体験 運動会
- ・ウインターチャレンジ（4日間）
- ・行事支援 運動会 げんきっ子集会

3 学期

- ・学習支援ボランティア 餅つき体験 昔遊び体験
- ・スプリングチャレンジ(4日間)
- ・学校応援団感謝の会 学校応援団連絡会議

3 事業内容

(1) 学習への支援

朝自習時の正解の確認（丸付け）、休業中の補習、生活科、総合的な学習の時間、家庭科、読書指導等の関わりを通して学習活動の支援を実施



〔お話し会〕



〔お茶摘み〕



〔算数スキルタイム〕



〔サマースクール〕



〔琴演奏体験〕



〔書き初め〕

3 地域に根ざした活動



〔グランドゴルフ〕



〔環境教育〕



〔福祉体験〕

(2) 環境整備への支援

教育環境の整備等を児童とともに行う活動を通して、教育活動の支援を実施
学校の花壇整備、運動会テント張り、万国旗設置、校内美化作業



〔美化作業〕



〔除草作業〕



〔花苗の準備〕

(3) 安心安全への支援

登下校、地域パトロール、通学班ごとの登校見守り、防犯の支援を実施



〔みかりばサバイバル〕



〔交通安全教室〕



〔登下校見守り〕

4 成果と課題

(1) 成果

- ・学習支援では、専門的な指導や支援、個に応じた指導が実現され、児童の学力向上や学習意欲向上の大きな力となっている。環境支援では、「気持ちよく学習できる環境」が整い、児童が伸びやかに学校生活を送ることができている。安全への支援では、日常の見守りだけでなく、「3. 1 1を忘れない」をモットーに「みかりばサバイバル」も恒例として定着し、災害時に地域の方と協働する素地が育まれつつある。
- ・学校応援団の活動が、児童と地域の方々とのふれあいの場になっている。児童が授業だけでなく登下校、地域行事など多くの場で地域の方々と顔を合わせて話をすることで絆が生まれ、地域の教育力の向上につながっている。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ・児童には、色々な活動や経験をさせてあげたい。自分たちにできることは何でも支援していきたい。
- ・子供の笑顔が最高です。また、2月の感謝の会も楽しみです。

(3) 課題

地域に生きる「地域の学校」として、地域との信頼関係を基に更なる協力関係を深めたい。また、児童の学習意欲・学力向上の視点からも、小規模校の利点を生かしながら、学校応援団との連携を通して本物に触れる体験、個に応じた指導を深めていきたい。

3 地域に根ざした活動

ふじみ野市立西小学校の実践 ～できる人が、できる時に、できる事を～

1 実践のねらい

本校では、保護者・地域参加による学校づくりを推進していくため、サポート役として授業や学校における活動に西小学校応援団の方に協力いただいている。どんな些細なことでも構わない「できる人が、できる時に、できる事を」が応援団の合言葉になっている。

西小学校応援団室には、次のようなスローガンが掲げられている。

- ・「大人の見守り 子供の安心」 お手本はまず大人から。支援は無言励行。
- ・「援助はサポート 子供が主役」 子どもたちのできたとやる気を育てる手伝い。
- ・「団らん増やそう今日のお手伝い」 家族で、仲間で、地域で応援団の話をしていこう。ただし、個人に関わることは口外しない。大人のマナーを守りましょう。

学校には応援団の力を発揮していただける場面がたくさんある。西小応援団は、子供たちの学習の様子を共に見守りながら活動し、「子供も保護者も地域も教職員もみんなが笑顔になる学校」を目指している。

2 事業計画

月	応援団活動内容	おやじの会
4	応援団募集 応援団交流会 第1回全体会 応援団だより	
5	道探検サポート 読み聞かせ会議 月桂樹の冠作成	
6	家庭科サポート トイレ掃除サポート 図書の修理	運動会サポート
7	応援団交流会 梅ジャム作り 図書室の整理整頓	
8		草取り
9	ミシンサポート	西小祭り参加
10	ミシンサポート 逆上がりサポート 落ち葉掃き	
11	家庭科クラブサポート 落ち葉掃き	音楽会サポート
12	家庭科クラブサポート 戦争のお話 図書の整理	
1	読み聞かせの内容について	雪かき
2	読み聞かせ交流会 ありがとうの会参加	
3	応援団交流会	畑の耕し

3 事業内容

(1) 活動内容

ア 学習活動への支援

- ・家庭科サポート（5・6年生のミシン操作補助）
- ・読み聞かせ
- ・家庭科クラブサポート（手芸指導）
- ・逆上がりサポート
- ・道探検

イ 環境整備の支援

- ・トイレ掃除
- ・落ち葉掃き



- ・図書室整理、掃除
- ・図書の修繕

(2) 地域に根ざした活動（地域交流を中心とした取組）

- ・戦争のお話を聞く体験

児童の感想…特に心に残ったのはふじみ野市にあった火工廠のお話です。身近に戦争に関する物があったことに驚きました。戦争を知らない世代になっていく今、今度は私たちが次世代へ語り継いでいこうと思いました。



(3) おやじの会の活動

- ・畑の耕し、草取り
- ・運動会サポート
- ・西小祭り参加



4 成果と課題

(1) 成果

かわいいイラストの入った手書きの「応援団だより」を、応援団の方が毎月発行している。誌面には西小応援団の活動の様子が詳しく紹介され、保護者や地域へ伝えている。それぞれの活動を振り返り、交流会で意見が出たことを次の活動に活かし、「まだまだやります…」とやる気に溢れた内容の活動予定や記事が掲載されている。「西小学校を少しでもよくしていこう」と思う応援団の熱い気持ちが伝わり、協力者が少しずつ増えている。応援団の活動のおかげで西小学校の子供を取り巻く環境が確実に整備され、豊かになっていることが実感できる。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ・今年度は図書室の本の修理や大掃除、整頓、貸し出しサポートをやってきました。子供たちが多く集まる場所に着手でき、一定の成果があったと思います。
- ・学校のトイレが暗い怖いイメージを、掃除や飾り付けをすることで少しでも子供たちが入りやすくてきたかなと思いました。
- ・私は現在地域住民での西小応援団活動をしています。私にとっての応援団は子供たちや先生方、小学校のためにお手伝いさせていただける場、保護者の交流の場だと思っています。
- ・応援団をやって良かった事は、在学中は小学校のお手伝いをしながら娘の様子をほんの少し見られた事。娘には、応援団のお母さんたちの頑張っている姿を見てもらえ、大人も一生懸命にいろいろやってくれているんだと感じてくれたことです。
- ・家庭科の作品作りの手順で、分からないことや確認したいことを子供の方から応援団に声を掛けてくれて、作ろうという気持ちが伝わってきたので、お手伝いできたことが良かった。

(3) 課題

- ・学校応援団の活動内容について、地域の方々や保護者の方々に知っていただき、より多くの方々に協力いただきたい。
- ・交流会への参加者の増加と、活発な意見交換ができるようにしていきたい。

3 地域に根ざした活動

深谷市立岡部西小学校の実践 ～地域と一体となった体験活動（そば作り体験）～

1 実践のねらい

本校地区の住民は、「地域の学校」という意識が高く、大変協力的である。学校経営の方針は、「子供たちの夢とこころざしを育む学校をつくる」であり、その実現に向け学校・家庭・地域が一層連携して教育活動を展開していく必要がある。そのために学校応援の組織を強化し、活動を活発に進めることで、地域の教育力を教育活動に生かしていきたい。また、学校応援の方々子供たちが交流することにより、一緒に郷土愛を育むことや地域活性化（元気になる）を期待している。

2 事業計画

本校では、総合的な学習の時間「見つめ直そう私たちの食生活」の中で、そばの種まきから刈り取り、脱穀、石臼でのそば粉作り、最後にそのそば粉を使ったそば打ち、ゆであげ、試食といった一連のそば作りに取り組んでいる。学校応援団「そばボランティア」の方々の協力をいただき、地域と一体となった体験活動を展開している。

活動過程	月	時間数	活動内容
ふれる	9月	3時間	そばの種まきをする
つかむ		2時間	ゲストから話を聞く
たてる	10月	2時間	活動計画をたてる
調べる	10～12月	7時間	課題決定・調べる
		1時間	間引きをする
	1月	2時間	収穫する
		2時間	粉ひき・そば打ちをする
		1時間	皆さんと会食する
まとめる	2月	6時間	発表資料をつくる
	3月	2時間	発表する



3 事業内容

【ふれる】 [活動内容]

- ・日常食べている食事の食材調べや食品にまつわる諸問題について発表する。
- ・そばのつくり方について知る。
- ・そばの種をまく。

< 評価 > ○食材調べや応援団の方の話から、食について意欲的に考えようとしている。

【つかむ】 [活動内容]

- ・調べたことや友達の発表、ゲストの話から自分の課題をつかむ。
- ・調べる対象ごとにグルーピングする。

< 評価 > ○体験したことや見聞きしたことの中から課題を設定している。

【たてる】 [活動内容]

- ・活動計画を立てる。
- ・調べる方法を考える。

3 地域に根ざした活動

< 評価 > ○課題を追求するための手立てを考え重要な情報を収集している。

【調べる】〔活動内容〕

- ・自分たちの課題について調べたり、活動したりする。
- ・そば打ちをする。

< 評価 > ○活動計画に従って、目的に合った資料や方法を選択し、最後まで課題を追求している。

【まとめる】〔活動内容〕

- ・今まで調べてきた事や活動してきた事を確認する。
- ・まとめる方法について話し合う。
- ・まとめる。
- ・発表会の練習をする。



〔会食〕

< 評価 > ○資料を工夫して作ったり、見やすくまとめたりしている。

【つたえる】〔活動内容〕

- ・まとめたことをお世話になった方々に発表したり、感謝の気持ちを伝えたりする。

< 評価 > ○自分の調べたことや考えたことをはっきりと、わかりやすく発表することができる。感謝の気持ちを伝えられる。



〔収穫〕



〔そば打ち〕



〔そばを切る〕

4 成果と課題

(1) 成果

そばの種まきから、そば打ち体験までの約半年間で、そばの生長やそばの実から粉への変化、そばの試食という一連の活動を通し、食に対する感動や感謝が生まれた。また、地域の方々との温かい交流を通し、思いやりの心や郷土愛をはぐくみ、地域をあらためて見直す機会となった。

(2) 子供たち、応援団の方々や保護者の声（感想）

子供たち：「そば作りは初めての体験ばかりで、とても楽しかった。」「そばの名人の方にわかりやすく教えていただいたので、安心してそば打ちができた。」「一緒に会食ができ嬉しかった。」

応援団の方々や保護者：「子供たちの生き生きとした表情をみることで元気が出た。」「子供たちにそば作りについて伝えることができ、嬉しかった。」

(3) 課題

該当学年の担任が、実施日や開始時刻を応援団の方と連絡をとる必要があることや、天候によって実施の可否が左右されるため、日程調整が難しい。最後のそば打ちでは、グループごとの活動であり、手間のかかる作業を授業時間に行うため、準備が大変重要である。

4 学校・地域の団体等との連携

東松山市立松山第一小学校の実践 ～家庭や地域及び外部機関との連携推進～

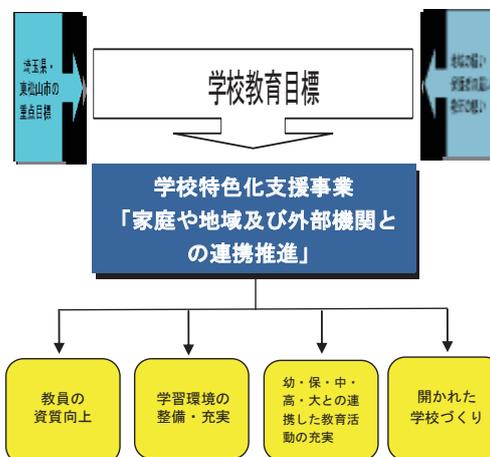
1 実践のねらい

本校では、東松山市学校特色化支援事業の委嘱を受け、平成23年度から2年間「幼・保・小・中・高・大・民間との連携」を主題として研究を行った。平成27年度からは、家庭や地域及び他機関との連携を充実させ、本校の学校教育目標の具現化に向けた取組を行っている。

<学校教育目標>

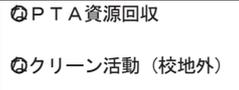
- なかよく (やさしい子 人や自然を大切にする子 思いやりのある子)
- かしこく (進んで学ぶ子 学び合う子 問題を見つけ解決する子)
- たくましく (最後までやり抜く子 強い心と体をもつ子 我慢のできる子)

家庭や地域及び外部機関との連携を図って展開される「開かれた教育活動」により、学校教育目標に直結した質の高い教育を推進することをねらいとしている。



2 事業計画

※教育目標との関連 (㊦なかよく ㊦かしこく ㊦たくましく)

事業	教員の資質向上	学習環境の整備・充実	幼・保・中・高・大と連携した教育活動の充実	開かれた学校づくり
目的	・学校課題研究の取組の充実 ・教職員の資質・授業力の向上を図る。	・潤いのある学習環境の創造 ・学力の向上 ・児童へのサポート体制の確立	・他校種間の連携による豊かな学習活動の創造 ・幼稚園から、中学校へのなめらかな接続 ・勤労観・職業観の醸成	・学校・保護者・地域連携と一体的な取組 ・外部機関との連携
通年	・校内課題研究(研究授業) ・校内公開授業 ・ミニ指導法研修 ・ミニ法令研修	・学校応援団活動(読み聞かせ等) ・PTA活動(サポート活動)		・PTA活動 ・学校応援団活動 ・各地区の取組 ・HPの更新
4月	□学校課題研究年間計画案作成	□活動計画(学校応援団・PTA)の作成	□連携計画の作成・依頼	□連携計画の作成・依頼
5月	□学校課題研究 研究主題・目指す児童像・研究領域についての検討	㊦読み聞かせ ㊦ガーデニング	□各校・園等への依頼・確認	 商店会の話
6月	□学校課題研究 研究組織の決定及び授業構想の検討	㊦サマースクールの実施計画の検討・作成 ㊦クリーン活動 ㊦読み聞かせ	 読み聞かせ	 ㊦PTA資源回収
7月	□学校課題研究 3部の実施計画・授業研究の計画検討	㊦サマースクールの実施計画 ㊦クリーン活動(校外) ㊦読み聞かせ	3デーズチャレンジ(松中) ㊦夏休み特別水泳補助(松高)	㊦クリーン活動(校外)
8月	□職員研修会 ・講演会 理論研修 □学校課題研究 授業研究会日程調整 ㊦少人数指導の改善計画	㊦サマースクールの実施(松高) ㊦8/23親子奉仕作業 ㊦ガーデニング	 サマースクール	㊦松まつり(PTA有志)
9月	 ガーデニング	㊦クリーン活動(校外) ㊦読み聞かせ ㊦ガーデニング	㊦写生会(5年) 松山高校の記念館を描く ㊦運動会(大東大のサポート) ㊦運動会(来年度就学児参加) ㊦鼓笛演奏(幼稚園児を招待)	㊦クリーン活動(校外) 運動会 PTA

4 学校・地域の団体等との連携

10月	□授業研究（中学年：3年） □授業研究（全体会：1年）	㊦ガーデニング ㊦読み聞かせ		㊦クリーン活動（校外） □戦没者平和式典参加
11月	□授業研究（低学年：2年） □授業研究（高学年：5年） □授業研究（全体会：4年）	㊦クリーン活動（校外） ㊦読み聞かせ	11/18 異校種授業公開（5年経験者研修：対象中学校） ㊦授業体験・部活動公開見学（松山中）	㊦㊦スリーデーマーチ ・わくわくテント ・鼓笛パレード ㊦クリーン活動（校外）
12月	□授業研究（全体会：6年）	㊦クリーン活動（校外） ㊦読み聞かせ	㊦科学教室（松山高）	12/6 P T A 資源回収
1月	□校内課題研究のまとめ	㊦クリーン活動（校外） ㊦読み聞かせ		㊦かるた大会 P T A
2月	 体育授業研究	㊦クリーン活動（校外） ㊦読み聞かせ  クリーン活動	□校内研修会（幼・保・小） □生活科（新一年招待 聖ルカ幼稚園 なかよし保育園） □生徒指導・教育相談事例研修会 □松山中学校相談員の合同会議	㊦クリーン活動（校外） ㊦ P T A 人権教育講演会  わくわくテント

3 事業内容

- (1) 学習環境の整備・充実
 - ① 潤いのある学習環境の創造
学校応援団、P T Aによるガーデニング、サポート活動など
 - ② 児童の学習活動へのサポート体制の充実
学校応援団による読み聞かせや高校生・大学生によるサマースクールや水泳教室
- (2) 幼・保・中・高・大との連携した教育活動の充実
 - ① 幼・保・小連携で目指すもの～発達や学びの連続性を踏まえた円滑な接続～
小一プログラムの解消、保育士・幼稚園教諭と小学校教諭の連携
 - ② 小・中連携で目指すもの～思春期を踏まえた円滑な接続～
6年児童の学習意欲の向上と中一ギャップの解消
小・中学校教諭の共通理解
 - ③ 高・大・民間との連携で目指すもの～学びの連続性から、将来展望へ～
高校での授業体験、大学生とのふれあいからの将来展望
「生き方」を学ぶ
- (3) 開かれた学校づくり
 - ① 学校・保護者・地域連携と一体的な取組
連携計画を作成し、学校行事（運動会、わくわくテント（スリーデーマーチ）等）への積極的な連携
ホームページ・学校便りなどによる積極的な情報発信

4 成果と課題

- (1) 成果
家庭、地域等との連携も、職員にとっては学校教育目標の具現化に向けた取組であることの意識が持てるようになった。しかし、外部の方にはそれは難しく、主に運営面の効率に目が向けられた。
- (2) コーディネーター・ボランティアの声（感想）
「学校の様子が分かり良かった。」
「子供たちの喜ぶ顔が見て、子供から力をもらった。」
- (3) 課題
打合せ時間や授業時数の確保など課題は解決できず、今後の連携の拡大・強化には相当大きな支障であることが分かった。

4 学校・地域の団体等との連携

神川町立渡瀬小学校の実践

～渡瀬の伝統を伝え、未来にはばたく児童の支援を行う学校応援団～

1 実践のねらい

本校の目指す学校像は、「児童が学びたくなる学校、保護者が通わせたい学校、職員が勤めたい学校」である。これを実現するためには、①学力の向上（分かる授業、楽しい授業の創造）②人権教育の充実（わかり合い、支え合う学級経営）③安全安心の学校（安全教育の実施と毎日の見守り活動）が重要である。

そこで、本校では上の3項目を活動の中心に据えて、「渡瀬小学校・学校応援団」の支援を受け、地域とともにある学校づくりに取り組んでいる。

2 事業計画

(1) 学力の向上（分かる授業、楽しい授業の創造）

2年生活科・ミニトマトの植え付け、3年総合・水辺公園の歴史、5年総合・渡瀬の名人から学ぶ、6年図工・陶芸教室、3～6年書写・書き初め指導、全学年体育・体操教室

(2) 人権教育の充実（わかり合い、支え合う集団づくり）

1、2年生活科・秋まつり、2年生活科・木宮神社とカンカチの話、学校行事・星まつりでのカンカチの指導や着付け、清掃活動・水辺公園清掃、低学年・お話を聞く会（年間9回）、全学年・渡瀬音頭の民謡指導

(3) 安全安心の学校（安全教育の実施と毎日の見守り活動）

登下校ボランティアによる毎日の見守り活動、警察と地域の方による交通安全教室の実施、平成19年5月8日より3、520日交通事故ゼロ更新中（平成28年12月26日現在）

3 事業内容

(1) 学力の向上（分かる授業、楽しい授業の創造）に向けた支援



〔2年生ミニトマトの苗植え〕



〔5年生箏指導〕



〔6年生陶芸教室〕



〔体操教室〕

4 学校・地域の団体等との連携

(2) 人権教育の充実（分かり合い、支え合う集団づくり）に向けた支援



〔星まつりでカンカチを踊る〕



〔星まつり地域の方と一緒に渡瀬音頭〕



〔水辺公園清掃〕



〔お話を聞く会〕

(3) 安全安心の学校（安全教育の実施と毎日の見守り活動）に向けた支援



〔12年間続く下校ボランティアの皆さん〕



〔無事故3,520日（12/26現在）〕

4 成果と課題

(1) 成果

学校応援団の支援により渡瀬小学校は、地域に根付いた学校づくりを行うことができています。また、平成19年から児童の交通事故ゼロが続いていることは、学校応援団の登下校ボランティアの皆さんの協力により実現していることである。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

12年間下校ボランティアでお世話になり、また家庭科でミシンの指導もしていますが、子供たちの生き生きとした様子を見ることで、がんばってきた甲斐を感じます。

(3) 課題

- ・学校応援団のメンバーの高齢化により、活動が困難な場合がある。
- ・毎年のように児童数が減少しているので、学校行事等の縮小により学校応援団の活動が限られてくることもある。

5 中学校における取組

戸田市立笹目中学校の実践

～ 生き生きと学ぶ子供の育成 ～

1 実践のねらい

学校・家庭・地域社会が連携して生徒の育成に当たる「開かれた学校づくり」の視点から、教科等学習指導や学校環境整備、安全確保等への協力・支援を通して、「生き生きと学ぶ生徒」「自己実現を目指す生徒」の育成の一層の充実を図ることを目指して取り組んでいる。

2 事業計画

5月 学校応援コーディネーター（3名）と学校担当者との打合せ

6月 学校応援団登録者募集

5月、7月、10月、1月、3月 地域クリーン活動

9月 ふれあい体験学習講座

11月 3年生模擬面接

年間を通して 部活動支援、安心・安全支援、施設・設備の修繕

3 事業内容

(1) 学習活動への支援

ア ふれあい体験学習講座

9月第1土曜に「ふれあい体験講座」を開催し、28の講座に約100名の講師の方に協力いただき、普段の授業では味わうことのできない貴重な学習体験をさせていただいた。今年度は生徒数増に伴い、新しい講座開設のため学校応援コーディネーターから紹介された地域の方々に協力をいただき、6講座を増設した。

また、学区内小学校とも連携し、小学校学校応援団の協力を得て、児童の参加も試みた。



イ 3年生模擬面接

3年生の面接試験の練習として、学校応援コーディネーターに面接官を担当していただき、模擬面接を実施している。



(2) 環境整備への支援

ア 地域クリーン活動

年間5回、生徒と保護者のボランティアを募り、学区内のゴミ拾いと校内の花壇等の緑化活動を実施している。学区内の2つの小学校とも年1回は合同でそれぞれ実施し、小学校の学校応援団にも協力いただいている。



イ 施設・設備の修繕

学校職員ではなかなか修理できない板金・溶接・塗装など、特殊な技能をお持ちの方に破損箇所等の修繕をしていただいている。

(3) その他の支援

ア 部活動への支援

部活動外部指導者として登録し、日常の活動において顧問の補佐として活動している。また、遠征等の場合、保護者と協力して引率補助を行っている。

イ 安心・安全への支援

P T Aと協力して朝のあいさつ運動に参加したり、地域の巡回活動を行ったりしている。また、通学路の危険箇所等について学校・市役所に連絡をして、生徒の安全な登下校に協力いただいている。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・学校応援コーディネーターのとりまとめにより、学校の方針・要望がスムーズに学校応援団の方々に伝わり、充実した支援活動ができるようになった。
- ・ふれあい体験講座では、生徒数増に伴い新しい講座開設に御協力いただき、より多くの分野で地域の方たちとふれ合うことができた。また、小学生の参加も実現し、小中の連携もより深まった。
- ・3年生の模擬面接では、教員が面接官を担当するのとは違って、先入観を持たずに対応してくださるので、生徒はより一層真剣にアドバイスを受け入れ、その後の活動の充実につながった。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ・笹中生は、いつも元気な挨拶をしてくれるので、とても気持ち良く活動させていただいています。
- ・ふれあい体験学習での生徒たちの生き生きとした笑顔、そして、年々、学校全体が活気を増して良くなってきているので、とても嬉しく思います。

(3) 課題

- ・現在支援していただいている活動を今後より一層充実させるとともに、2学年で実施している職場体験学習で協力いただく事業所の拡大や事前事後指導において、学校応援団に支援していただけるよう、学校応援コーディネーターと綿密に打合せをし、生徒がより充実した活動ができるよう取り組んでいく。

5 中学校における取組

坂戸市立若宮中学校の実践

～誇りと自信が持てる若宮中の学校応援団を目指して～

「できるときに！できる人が！できることを！」

1 実践のねらい

本校の教育目標である「自ら考える力 信頼する心 健やかな体」を持った生徒の育成のために、学校・家庭・地域が一体となって「生きる力」や「深い絆」を育み、健全で健やかな子供たちに育てることを目的としている。そのために、家庭や地域との連携・協力を密にした学校応援団活動を目指し、実践を通して、学校の活性化が図られ、家庭や地域の教育力の向上につながることをねらいとしている。

2 事業の計画

月	活 動 内 容
4 月	学校応援団登録のお願い
5 月	学校応援団連絡会議（学校応援団長・各活動部チーフの決定、年間計画・活動内容打合せ）、登録者名簿作成 今年度の学校応援団活動開始
6 月	若中シンボル芝生再生プロジェクト(県みどりのサポーターズクラブ活用) 学校応援団推進事業に係る消耗品購入
7 月	P T A除草作業協力・協働、校内補修
9 月	埼玉県コーディネーター研修参加
11 月	西部地区学校・家庭・地域連携実践発表会への参加
1 月	学校応援団活動に関する連絡会(学校と各チーフで課題や今後の方針等)
2 月	学校応援団感謝の会(生徒朝会) 学校応援団活動のまとめ(感想や意見交換)と次年度の計画
3 月	校内補修

3 事業内容

(1) 活動内容

① 安全・安心への支援

ア あいさつ運動

毎朝、生徒の登校時間や部活動（朝練習）終了時刻に合わせ、あいさつボランティア、教員、生徒会役員、生活安全委員が校門前や昇降口で行っている。

イ 交通安全の見守り

現在行っている教職員による登校指導・下校指導に合わせ、一緒に通学路に立ち、交通安全の見守りに取り組んでいる。生徒指導部・生活安全委員会と連携を図り、定期テストの登下校時や、合唱コンクール終了後の下校時に協力をお願いしている。

② 環境整備への支援

ア 緑化活動

緑化ボランティアとして、毎月生徒の緑化委員会の活動日に合わせた定例活動日と、必要に応じ休日や長期休業日にも活動している。チーフを中心に年間計画



5 中学校における取組

を立て、学校ファームをはじめ、花壇の草花の植え替えや水やり、除草、種から花苗を育てたり、こぼれ種から桜草の栽培等に取り組んでいる。

県のみどりの活動支援補助事業への取組も3年目となり、今年度は、彩の国みどりのサポーターズクラブを活用した芝生の再生にも取り組んだ。

イ 営繕等

校内補修、ペンキ塗り、雪かき、体育祭テント設営等の力仕事、草刈機での除草作業を「メンズの会」（学校応援団男性の会）と協力して行っている。

③ 学習への支援

ア 図書の管理

図書ボランティアとして、毎月第1・3火曜日を活動日として図書の整理や掲示物の作成等を行っている。図書室前の掲示板や図書室内には、目を引くような「新刊の紹介」や季節感あふれる飾り付けがされている。図書室利用者も徐々に増え、心地よい空間で読書を楽しんでいる様子が伺える。今年度は図書委員会と一緒に図書の選定も行った。



イ 授業支援

学習支援ボランティアとして、家庭科の調理実習、保健体育の水泳や柔道実技で授業に入っただき、見守りや支援をお願いしている。

4 成果と課題

(1) 成果

- ①学校応援団発足から8年目、男性団員も増え、学校支援活動として定着し、各活動部のチーフを中心に、楽しみながら活動している。
- ②生徒会専門委員会と一緒に活動し、環境を自分たちの手で整えていく活動を通して、生徒も自分たちができることをしようという風土ができてきた。
- ③県の「みどりの活動支援補助事業 緑と桜草と花いっぱいプロジェクト」に取り組み、また、彩の国みどりのサポーターズクラブを活用し「若中シンボル芝生再生プロジェクト」では学校応援団OB・OGも巻き込んで取り組むことができた。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

- ①共に活動することで、生徒との距離が縮まり、学校の様子や生徒の成長が身近に感じられるようになった。
- ②生徒たちと一緒に自分たちの手で環境を作っていく活動を通して自分も「学校」に愛着が持てるようになった。

(3) 課題

- ①現時点では、各グループが、チーフを中心に活動が進められている。今後も、連絡会を行うなどしてコーディネーターを中心にお互い連携を深めながら進めていきたい。
- ②今後も生徒会専門委員会と協力しての活動ができるよう、時間調整を工夫したい。

5 中学校における取組

鶴ヶ島市立鶴ヶ島中学校の実践

～ 環境整備を中心とした学校応援団の取組 ～

1 実践のねらい

- 保護者・地域住民の協力・支援により、学校における学習活動、環境整備等の一層の充実を図る。
- 学校応援団の活動を通して、保護者・地域住民に学校の教育活動を知ってもらい、学校、保護者、地域の連携をより一層深め、信頼された学校を目指す。

2 事業計画

- 4月 日光街道清掃活動（桜編）2回
- 5月 花壇の植栽
- 7月 除草作業
- 8月 除草作業
- 10月 P T Aバザー前日準備・当日手伝い
- 11月 花壇の植栽
日光街道清掃活動（落ち葉編）
- 12月 日光街道清掃活動（落ち葉編）
音楽授業「箏」の指導

3 事業内容

(1) 活動内容

ア 環境整備の支援

- ・日光街道（県のロードサポートの指定を受けている）清掃活動
生徒会が主催し、学校前の日光街道を生徒・保護者・教職員とともに清掃する。春、秋各2回ずつ行っている。春は、主に桜の花が散った頃、秋は銀杏の葉が落ちた頃に行っている。
- ・除草及び花（P T Aとロードサポートの予算）の植栽
春と秋にP T Aの環境委員の方と生徒会の奉仕委員の生徒とともに、学校花壇と日光街道の除草作業と花の植栽を行っている。また、普段より時間があるときには、気軽に学校に来て除草作業をこまめに行っている。





イ 学習活動の支援

- ・ 箏の特別指導

音楽の授業で「箏」の指導を行っている。

(2) その他

- ・ P T Aバザーの協力

秋に行われるP T Aバザーの前日準備と当日の手伝いを生徒・保護者・教職員と行っている。



4 成果と課題

(1) 成果

活動を通して、生徒、保護者、学校応援団、教職員の交流が図られ、それぞれの相互理解が深まった。また、応援団の中には伝統ある本校の卒業生も多く、愛校心も生徒に強く伝わっている。年に何回も、応援団の方々とふれあい、生徒は地域に支えられている学校との実感を感じることができている。応援団の方々は、決められた日以外でも気軽に学校に来て、除草作業や清掃を進んで行っている。生徒も、応援団の方々と自然に挨拶等をして交流を深めている。P T Aバザーの協力やP T A環境委員との花の植栽など、保護者との関係も強く、大変心強く感じられる。

(2) コーディネーター・ボランティアさんの声（感想）

無理のない範囲で、「細く長く」続くように、これからも地域の学校の為にやっていきたい。

(3) 課題

新しい応援団員の人材発掘と登録を行っていききたい。事業内容は、現在のところ環境整備が中心であるが、さらにいろいろな方面の事業を増やしていききたい。特に学習支援について増やしていき、生徒の学力向上につなげていききたい。

5 中学校における取組

宮代町立須賀中学校の実践

～ 地域に根ざした活動 ～

1 実践のねらい

本校では、宮代の教育「憧れを未来につなぎ、生きる力を育てる宮代教育の創造」の実現をめざし、『全力』の精神を全教育活動の中で体現し、生徒・教職員・保護者・地域が一体となり「自信と誇りのもてる学校づくり」に取り組んでいる。

本校の学校応援団は、学校・家庭・地域社会と連携のもと、生徒活動支援（部活動・学習支援）、学校環境支援（親子除草・植栽）、健全育成支援（あいさつ運動・地域パトロール）などの活動を推進し、生徒たちの教育活動と教育環境の充実に努めている。

2 事業計画

主な事業の活動内容・年間の活動計画については、以下の表のとおりである。

事業	活動計画	活動内容
生徒活動支援	部活動支援	通年 ソフトボール、男女バスケットボール、卓球、バレーボール、サッカー、剣道の指導
	学習支援	毎週 水・木 数学、技術の学習支援
	読み聞かせ 読み語り	各学期 1学期のブックトーク 2学期 読み語り指導
学校環境支援	図書室整備	毎週 火 図書室の本の整理と環境整備
	環境整備	夏季休業日 除草作業、植栽
健全育成支援	健全育成	毎週 月 あいさつ運動
		夏季休業日 夏季休業の地域パトロール
		10・11月 2学期、下校時に地域パトロール

3 事業内容

(1) 活動内容

ア 生徒活動支援

- 部活動支援では、ソフトボール、男女バスケットボール、卓球、バレーボール、剣道の6部活に総勢14名の協力を得ている。技術面の指導だけでなく、練習試合等では試合運営の補助を行っている。活動日は通年で、平日及び休日、長期休業日の練習時間の部活と週1・2回の部活がある。
- 学習支援では、数学と技術の授業における学習補助と教材作成の支援を行っている。活動は通年で、水曜日と火曜日の午前中に行っている。
- 図書ボランティアが、1学期にブックトークを1年生で実施する。2学期には、2年生が小学生に読み語りをするに当たり、読み語り指導を11月に行っている。

イ 学校環境支援

- 図書ボランティアが、毎週火曜日に図書室の本の整理と図書室環境の整備を行っている。



5 中学校における取組

- ・学校環境の整備では、夏季休業日の親子除草を実施し、校地内の除草活動を行っている。また、学校花壇の植栽など緑化活動を年数回行っている。

ウ 健全育成活動

- ・健全育成では、毎週月曜日にあいさつ運動を行う。また、夏季休業日と10月・11月の下校時刻に合わせあいさつ運動と地域パトロールを実施する。

(2) 地域に根差した活動（地域交流を中心とした取組）

ア 職場体験 2年生が1学期に「職場体験学習」を行っている。地域の中の様々な職業を通して、職業感の育成と人と人とのふれあいによる豊かな感性の育成につなげている。



イ 保育実習 3年生の家庭科の授業の一環として、保育園実習を行う。保育園実習の事前段階から、家族のつながりや命の大切さを学習し、体験を通して生徒が自分を見つめなおす機会としている。

ウ 地域交流 本校合唱部は、地域への貢献活動として、地域防災会祭り、もみの木での敬老者訪問、学童保育祭り、地域イルミネーションなど様々な場所で合唱を披露している。また、環境奉仕委員がボランティア活動として、学校近くの地下道清掃や学校周辺道路の落ち葉掃きなど、美化活動を実施している。

4 成果と課題

(1) 成果

- 生徒活動支援では、外部指導者の専門的な技術指導により生徒たちが意欲をもって活動し、充実した部活動となった。

図書ボランティアのブックトークにより、本への興味が増え読書活動の充実が図られた。さらに、読み語り指導では、絵本の読み方を懇切丁寧に指導していただき、小学生への読み語りを楽しいものとなり、絵本を読んだ中学生も楽しんで読み語りができた。



- 学校環境支援では、図書室環境の整備を通し潤いのある図書室経営となり、子供たちの読書活動の充実が図られた。

(2) ボランティアさんの声（感想）

- 部活動ボランティア：子供と一緒に活動し、子供たちが成長する姿が見られて、うれしく思います。
- 図書ボランティア：図書室で本の整理をすることで、子供たちがもっと本に触れられたらと思います。
- 学習支援ボランティア：技術で、作業に困っている子がいる子に、手助けすることで作品が完成し、子供たちが喜ぶ姿を見ることで、やりがいを感じます。

(3) 課題

学校職員やボランティアの方が変わっても、継続して活動できるように、学校応援コーディネーターを中心に組織化していくことが必要である。

第3 「学校応援団」参考資料



平成28年度学校応援団の組織づくりの推進に係る調査結果概要

【組織づくり】

1 「学校応援団」の組織状況

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
A 「学校応援団」（学校を支援する組織）が組織されており、学校と学校応援団との調整役（教職員以外）がいる。	708	100.0%	355	100.0%
B 学校を支援する組織はあるが、学校と組織との調整役がない。	-	0.0%	-	0.0%
C 学校の教育活動の支援を行う組織がなく、調整役もない。	-	0.0%	-	0.0%
合計	708		355	

2 「学校応援コーディネーター」の担い手

（1のAが対象。複数回答あり。）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
現PTA関係者	308	43.5%	177	49.9%
元PTA関係者（PTAのOBなど）	292	41.2%	156	43.9%
町内会長・区長・自治会長など	157	22.2%	37	10.4%
学校支援グループの代表者	149	21.0%	42	11.8%
学校評議員	132	18.6%	47	13.2%
民生委員・児童委員	76	10.7%	20	5.6%
自営業	67	9.5%	21	5.9%
元教員	50	7.1%	10	2.8%
卒業生（同窓生）	28	4.0%	12	3.4%
商工会議所・青年会議所等の地元団体の関係者	21	3.0%	9	2.5%
会社員	19	2.7%	9	2.5%
公務員	17	2.4%	10	2.8%

3 「学校応援団」活動に係る会議の設置

（1のAが対象。複数回答あり。）

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
要項等を作成し実施している。	272	38.4%	89	25.0%
要項等の作成はせず実施している。	240	33.9%	117	33.0%

【活動内容】

4 学習活動への支援、部活動への支援の内容

(1のAが対象。複数回答あり。)

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
子供への本の読み聞かせ活動を行っている。	661	93.4%	57	16.1%
指導者として、郷土芸能や伝統行事、昔遊びなどを体験させている。	570	80.5%	71	20.0%
子供が校外で学習する際に、担任とともに子供に付き添い安全を確保している。	507	71.6%	27	7.6%
授業などにおいて、学級の子供に対して、学習内容に関する専門的な知識を話したり、技術や技能を示したりしている。	464	65.5%	79	22.3%
農業体験活動などにおいて、育成の指導や草取りなどを支援している。	442	62.4%	104	29.3%
授業などにおいて、個々の子供に対して、学習活動を支援している。	396	55.9%	67	18.9%
授業などにおいて、子供のグループに対して、学習活動を支援している。	383	54.1%	52	14.6%
環境教育を行うために、ビオトープづくりの支援や、教材などの準備、アルミ缶の回収などを行っている。	219	30.9%	87	24.5%
部活動やクラブ活動において、技術や技能を示したり、指導・助言などを行っている。	171	24.2%	158	44.5%
放課後や週末などに、宿題や補習などを手伝っている。	69	9.7%	47	13.2%
部活動の大会などで、引率の補助を行っている。	7	1.0%	50	14.1%

5 安心・安全確保への支援の内容

(1のAが対象。複数回答あり。)

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
登下校時に、通学路に立ち児童生徒の安全を確保している。	669	94.5%	144	40.6%
スクールガードやスクールガードリーダーとして活動している。	641	90.5%	21	5.9%
「子ども避難所（子ども110番の家）」など、緊急時の避難場所として自宅などを登録している。	552	78.0%	63	17.7%
登下校時のあいさつ運動や声掛け活動を行っている。	502	70.9%	212	59.7%
登下校時に、パトロールを行い安全を確保している。	497	70.2%	82	23.1%
登下校時に、児童生徒に付き添い安全を確保している。	460	65.0%	11	3.1%
防犯パトロールを行っている。	436	61.6%	173	48.7%
授業中や休み時間に、校舎内の巡回を行っている。	37	5.2%	12	3.4%

6 教育環境整備への支援の内容

(1のAが対象。複数回答あり。)

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
除草作業や花壇などの整備を行っている。	608	85.9%	286	80.6%
学校図書館の図書の整理などを手伝っている。	402	56.8%	56	15.8%
樹木や生垣の手入れや剪定などを行っている。	373	52.7%	162	45.6%
教室や校舎の修繕を手伝っている。	136	19.2%	65	18.3%
校庭の遊具の整備や管理の補助などを行っている。	121	17.1%	14	3.9%

【成果と課題】

7 地域人材を活用した支援活動の結果という視点から考えられる成果

(1のAが対象。複数回答あり。)

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
地域の方と交流することにより、子供に、あいさつをするなどの「社会性」が身に付いてきた。	591	83.5%	287	80.8%
学習活動の支援により、子供が学習に意欲的に取り組むようになった。	560	79.1%	116	32.7%
子供の多様な体験や経験が増えた。	555	78.4%	159	44.8%
専門的な知識や技術が授業に活用されることにより、子供の学習活動に対する興味や関心が高まった。	537	75.8%	124	34.9%
教員が「地域人材」を授業等で活用する「よさ」を理解するようになった。	482	68.1%	78	22.0%
専門的な知識や技術が授業に活用されることにより、授業の質の向上が図られた。	385	54.4%	64	18.0%
学習に必要な支援が受けられるようになり、教員の学習指導に対する意欲が高まった。	242	34.2%	34	9.6%
子供のコミュニケーション能力が高まった。	192	27.1%	48	13.5%
教員が子供と向き合う時間が増えた。	102	14.4%	28	7.9%
不登校やいじめなど生徒指導上の課題に対処しやすい環境ができた。	94	13.3%	49	13.8%
子供の学力や体力が向上した。	84	11.9%	26	7.3%
子供に落ち着きが出てきた。	75	10.6%	59	16.6%

8 学校と家庭・地域との連携という視点から考えられる成果

(1のAが対象。複数回答あり。)

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
保護者や地域の方が来校することにより、学校と家庭・地域との連帯感が強まった。	675	95.3%	307	86.5%
保護者や地域の方に、学校の教育活動を支援していただくことにより、保護者や地域の方の学校に対する信頼が深まった。	624	88.1%	292	82.3%
「学校応援団」の方から、学校の教育活動における支援に「生きがい」や「やりがい」などを感じるという声が聞かれるようになった。	516	72.9%	103	29.0%
教員が、子供を地域ぐるみで育てているという意識を持つようになった。	442	62.4%	144	40.6%
保護者から、「学校の教育活動がよく理解できるようになった」という声が聞かれるようになった。	330	46.6%	129	36.3%
子供が地域の行事に以前より積極的に参加するようになった。	138	19.5%	71	20.0%
地域の犯罪が減少した。	41	5.8%	18	5.1%

9 「学校応援団」づくり及び推進に当たっての課題

(1のAが対象。複数回答あり。)

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
学校支援ボランティアを集めること	452	63.8%	170	47.9%
「学校応援コーディネーター」として依頼できる人材の確保	342	48.3%	135	38.0%
「学校応援コーディネーター」や学校支援ボランティアとの打合せや調整時間の確保	291	41.1%	83	23.4%
「学校応援団」運営のための予算確保	230	32.5%	85	23.9%
「学校応援団」に支援していただくことをまとめること	224	31.6%	90	25.4%
「学校応援団」の活動内容を充実させること	220	31.1%	105	29.6%
「学校応援コーディネーター」の活動場所の確保	165	23.3%	58	16.3%
企画・運営委員会や職員会議等での検討（分掌上の位置付けや活動ルール作成等）	133	18.8%	67	18.9%
地域の方の理解や協力を得ること	89	12.6%	39	11.0%
学校の教職員の理解や協力を得ること	57	8.1%	42	11.8%
学校経営方針への位置付け	52	7.3%	32	9.0%

10 「学校応援団」の活動の充実に向けての今後の取組方策

(1のAが対象。複数回答あり。)

選択肢	小回答	小割合	中回答	中割合
学校だよりや学校のホームページ等を活用して、積極的に学校支援ボランティアを募集し、人材の確保に努める。	473	66.8%	157	44.2%
自治会や町内会等との連携を強化し、学校支援ボランティアや「学校応援コーディネーター」の人材の確保に努める。	470	66.4%	133	37.5%
「学校応援団」の組織体制や活動計画、運営方法についての見直しを行う。	333	47.0%	170	47.9%
県のホームページや実践事例集等で紹介されている優良事例を参考に、現在の活動内容の見直しや新たな活動を企画・実施する。	328	46.3%	135	38.0%
実践発表会等で紹介された内容を参考にし、現在の活動内容の見直しや新たな活動を企画・実施する。	306	43.2%	121	34.1%
「『学校応援団』のタイプ別活動例」や「『学校応援団』活動内容の充実に向けて」を活用して、現在の活動内容の見直しや新たな活動を企画・実施する。	258	36.4%	97	27.3%
職員会議や校内研修等における「学校応援団」の活用をテーマとした話し合い等により、教職員の意識改革を図るとともに、学校支援ボランティアとの連携強化を図る。	201	28.4%	77	21.7%
管内及び隣接校との情報交換等により、自校の活動内容の見直しを行う。	183	25.8%	88	24.8%
自治会や地域の諸団体との連携を深め、児童生徒や教職員が地域活動に積極的に参加するなど、地域を活性化させるための取組を進める。	161	22.7%	73	20.6%
これまで連携していない組織・団体等との新たな連携作りに努め、支援や活動の種類が拡大するよう努める。	155	21.9%	51	14.4%
「学校応援団」の活動について、学校支援ボランティアや「学校応援コーディネーター」と教職員がともに参画し、意見交換等を行う場を設定する。	143	20.2%	68	19.2%

第4 「放課後子供教室推進事業」 とは



「放課後子供教室推進事業」について

1 概要

(1) 趣旨

全ての子供を対象として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子供の活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子供たちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子供たちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

また、土曜日等において社会人や企業の参画を得て、土曜日ならではの多様なプログラムを子供たちに提供し、教育支援体制の構築を図るとともに、未来を担う子供たちを健やかに育むため、地域の人材を活用し、学習が遅れがちな中学生等に対して学習支援を行う。

(2) 事業の内容

ア 指導者研修等の実施（県）

(ア) 推進委員会の設置

実施方針の検討、指導者研修の企画、事業実施後の検証・評価等を行う推進委員会を設置

(イ) 指導者研修の実施

コーディネーター等の資質向上や情報交換・情報共有を図るための研修を実施

(ウ) 市町村が実施する「放課後子供教室」「土曜日の教育支援」「中学生学力アップ教室」への支援

市町村への補助金の交付、各種会議等による情報提供

イ 「放課後子供教室」「土曜日の教育支援」「中学生学力アップ教室」の実施（市町村）

(ア) 「放課後子供教室」の実施

教育活動サポーターやボランティアを配置し、スポーツ・文化活動等の様々な体験活動や地域住民との交流活動等の取組を実施

また、教育活動推進員を配置し、補習等の学習活動の取組を実施

(イ) 「土曜日の教育支援」の実施

土曜教育推進員やボランティアを配置し、体系的・継続的なプログラムを企画・実施

(ウ) 「中学生学力アップ教室」の実施

学習支援員やボランティアを配置し、中学生を対象とした学習支援を実施

(エ) 運営委員会の設置

(オ) コーディネーターの配置

2 実施状況等

(1) 実施状況

年 度	19	20	21	22		
実施市町村数	20	31	38	38		
実施箇所数（※1）	139	214	247	277		
年 度	23	24	25	26	27	28
実施市町村数	45	45	45	46	46	48
対象学校数（※4）	327	351	375	382	594	705

※1 平成19～22年度は実施箇所数、平成23年度以降は対象学校数にて表記

※2 平成26年度より新規事業として「土曜日の教育支援」を開始

※3 平成27年度より新規事業として「中学生学力アップ教室」を開始

※4 平成28年度の「対象学校数」の内訳は、（2）のア、イ、ウに記載

(2) 平成28年度実施市町及び対象学校数

ア 放課後子供教室 対象学校数：398校（うち補助対象学校数：352校）

南部地区		西部地区		北部地区		東部地区	
川口市	21	所沢市	11	熊谷市	29	行田市	4
鴻巣市	12	東松山市	6	秩父市	13	春日部市	15
草加市	20	狭山市	15	横瀬町	1	羽生市	6
蕨市	7	入間市	16	小鹿野町	4	久喜市	23
戸田市	12	富士見市	11	上里町	5	八潮市	10
志木市	8	坂戸市	3	寄居町	6	三郷市	19
和光市	9	鶴ヶ島市	8			蓮田市	4
新座市	8	日高市	6			杉戸町	2
桶川市	7	ふじみ野市	13			越谷市	19
北本市	8	毛呂山町	4			加須市	3
伊奈町	4	嵐山町	3			幸手市	1
		川島町	6			吉川市	8
		吉見町	2				
		ときがわ町	1				
		越生町	2				
		鳩山町	3				

イ 土曜日の教育支援 対象学校数：239校（うち補助対象学校数：196校）

南部地区		西部地区		北部地区		東部地区	
上尾市	22	所沢市	1	熊谷市	45	久喜市	11
蕨市	7	東松山市	2	深谷市	19	三郷市	27
朝霞市	10	坂戸市	12			春日部市	7
新座市	17	ふじみ野市	6				
北本市	12	ときがわ町	5				
草加市	32						
伊奈町	4						

ウ 中学生学力アップ教室 対象学校数：68校（うち補助対象学校数：68校）

南部地区		西部地区		北部地区		東部地区	
川口市	23	越生町	1	熊谷市	16	加須市	8
北本市	4			深谷市	10		
				小鹿野町	1		
				上里町	2		
				寄居町	3		

- ※1 政令指定都市（さいたま市）を除く。
- ※2 網掛け：県の補助を受けずに単独事業として実施している市町。
- ※3 「対象学校数」とは、各事業に参加可能な子供が在籍する学校の数を表す。

平成28年度「放課後子供教室推進事業」の実施状況一覧表

※ 網掛けは、県の補助を受けずに独自に類似事業を実施している市町

地区	No.	市町村	実施教室数	対象学校区数	対象学校区	主な活動場所	活動曜日	時間帯	運営委員会	学習調査の活用	研修の実施
南部地区	1	川口市	21	21	原町小、朝日東小、戸塚南小、神根小、青木北小、芝小、新郷小、笹仲小、安行東小、鳩ヶ谷小、中居小、辻小、里小、桜町小、南鳩ヶ谷小、本町小、在家小、差間小、芝中央小、東本郷小、領家小	小学校:20か所 公民館:1か所	月・土曜日:1か所(月2回) 月曜日:17か所(月2回:15か所、月1回:2か所) 木曜日:2か所(毎週:1か所) 金曜日:1か所(月2回)	平日 15:00~17:00(冬季 15:00~16:30):2か所 うち 平日他 土曜日 10:00~11:30:1か所	12月 2月 3月	無	有
		川口市 (中学生学力アップ教室)	23	23	東中、北中、青木中、芝中、元郷中、上青木中、幸並中、十二月田中、仲町中、安行中、芝東中、芝西中、岸川中、橋松中、小谷場中、神根中、領家中、戸塚中、在家中、安行東中、戸塚西中、八幡木中、里中	中学校:23か所	10月~2月の土曜日もしくは日曜日と冬季休業日から13回(実施日は各校が決定):23か所	9:30~11:30又は13:00~15:00:23か所	7月	無	有
	2	鴻巣市	12	12	鴻巣東小、松原小、下忍小、屈巢小、鴻巣北小、赤見台第二小、大戸小、笠原小、鴻巣南小、常光小、小谷小、吹上小	小学校:11か所 公民館:1か所	月・火曜日(毎週):1か所 月・木曜日(毎週):3か所 月・水曜日(毎週):4か所 月・金曜日(毎週):2か所 火・木曜日(毎週):1か所 水・金曜日(毎週):1か所	平日 14:30~17:00:12か所	5月 11月 3月	無	無
	3	上尾市 (土曜日の教育支援)	6	22	上尾小、中央小、大谷小、平方小、大石小、原市小、上平小、富士見小、尾山台小、東小、大石南小、平方東小、原市南小、鴨川小、芝川小、瓦葺小、今泉小、西小、東町小、平方北小、大石北小、上平北小	公民館:6か所	土曜日及び長期休業日(不定期):6か所	土曜日及び長期休業日:10:00~15:00のうち2時間:6か所	7月 2月	無	無
	4	草加市	20	20	草加小、高砂小、新田小、谷塚小、栄小、川柳小、西町小、新里小、花栗南小、八幡小、新栄小、清門小、稲荷小、氷川小、八幡北小、長栄小、青柳小、両新田小、松原小、瀬崎小	小学校:20か所	平日毎日及び長期休業日(平日毎日):1か所 月・火・金曜日及び土曜日(毎週):1か所 月曜日(毎週):3か所 月曜日(毎週)及び土曜日(月1回):1か所 火曜日(毎週):3か所 水曜日(毎週):3か所 水曜日(毎週)及び土曜日(月1回):1か所 水・金曜日(毎週):1か所 木曜日(毎週):2か所 金曜日(毎週):4か所	平日 放課後~17:00(冬季~16:30)、長期休業日 9:00~12:00(後半~12:00):1か所 平日 放課後~17:00(冬季~16:30):16か所 平日 放課後~17:00(冬季~16:30)、土曜日 10:00~12:00:3か所	5月	無	有
		草加市 (土曜日の教育支援)	25	32	市内全小中学校	小学校:21か所 公民館等:4か所	土曜日(年13回) 平成28年 6/25 7/23 8/6 8/27 9/24 10/8 10/22 11/26 12/10 12/17 平成29年 1/28 2/18 2/25	土曜日 9:00~11:00:21か所 土曜日 9:30~11:30:4か所	4月	無	無
	5	蕨市	7	7	東小、西小、南小、北小、中央小、中央東小、塚越小	小学校:7か所	月曜日(毎週):7か所 ただし、祝日・春夏秋冬休み等を除く。	15:00~17:00(冬季 15:00~16:30):7か所	11月	無	有
	蕨市 (土曜日の教育支援)	7	7	東小、西小、南小、北小、中央小、中央東小、塚越小	小学校:7か所	土曜日(隔週):7か所 ただし、春夏秋冬休み等を除く。	9:30~11:30:7か所	3月	無	無	
	6	戸田市	12	12	芦原小、美谷本小、新曾小、喜沢小、笹目小、戸田東小、戸田第一小、新曾北小、戸田南小、笹目東小、美谷木小、戸田第二小	小学校:12か所	平日週2回 火・木:1か所 平日週1回 月:2か所 木:3か所 平日月2~3回 月:1か所 火:1か所 月・水:1か所 木:2か所 平日月1回 月:1か所	15:00~16:00:1か所 15:00~16:45:1か所 15:00~17:00:3か所 15:00~17:00(冬季 15:00~16:30):7か所	7月 10月 3月	無	有
	7	朝霞市 (土曜日の教育支援)	6	10	第一小、第二小、第三小、第四小、第五小、第六小、第七小、第八小、第九小、第十小	小学校:6か所	土曜日(全12回):6か所	9:30~11:30:6か所	7月 3月	無	無
	8	志木市	4	8	志木小、志木第二小、志木第三小、志木第四小、宗園小、宗園第二小、宗園第三小、宗園第四小	小学校:2か所	月・水・木曜日:1か所 土曜日(隔週):1か所	月・水・木曜日 15:30~17:00:1か所 土曜日 9:30~11:00:1か所	3月	無	無
	9	和光市	11	9	白子小、新倉小、第三小、第四小、第五小、広沢小、北原小、本町小、下新倉小 新倉小、第四小	小学校:9か所 小学校:2か所	平日月2回~3回:8か所 平日月1回:1か所 給食のある平日及び長期休業日(夏・春休み)の平日:2か所	15:30~16:45:9か所 給食のある平日 放課後~17:00 長期休業日(夏・冬・春休み)の平日 9:00~12:00:2か所	3月 3月	無	無
	10	新座市	8	8	東野小、石神小、東北小、新堀小、第四小、野寺小、栗原小、新開小	小学校:8か所	給食のある平日及び長期休業日の平日(毎日):8か所	給食のある平日 放課後~17:00(10月20日~1月は16:30まで。17:00まで活動する場合は、お迎え必須) 長期休業日の平日 8:30~正午:8か所 (東北小の夏季休業日のみ8:30~17:00)	5月	無	有
新座市 (土曜日の教育支援)	17	17	大和田小、西堀小、片山小、第四小、八石小、東北小、野火止小、野寺小、池田小、新堀小、東野小、栄小、石神小、新開小、栗原小、陣屋小、新座小	小学校:17か所	土曜日(月2回程度):17か所	土曜日 10:00~12:00:17か所	5月	無	無		
11	桶川市	8	7	桶川東小、日出谷小、桶川西小、朝日小、桶川小、加納小、川田谷小 朝日小	小学校:7か所 小学校:1か所	月~金曜日(毎日・朝日小は水曜日休室):7か所 各月第3土曜日(ただし8月を除く):1か所	15:00~16:30:7か所 10:00~12:00:1か所	4月	無	有	
12	北本市	8	8	西小、南小、東小、中丸小、石戸小、北小、中丸東小、栄小	小学校:8か所	給食のある月~金曜日(毎週)及び土日長期休業日:1か所 給食のある月~金曜日(毎週):7か所	月~金曜日 14:45~16:50、土日 9:00~16:00、長期休業日 9:00~12:00:1か所 月~金曜日 14:45~16:50:7か所	4月 9月 3月	無	有	
北本市 (土曜日の教育支援)	12	12	中丸小、石戸小、南小、栄小、北小、西小、東小、中丸東小、北本中、東中、西中、宮内中	小学校:8か所 中学校:4か所	土曜日 午前中 10回	9:00~12:00:12か所	4月	無	無		
北本市 (中学生学力アップ教室)	6	4	北本中、東中、西中、宮内中	中学校:4か所 公民館:2か所	水曜日:4か所(中学校) 土曜日:2か所(公民館)	17:00~19:00:4か所(中学校) 16:00~18:00:2か所(公民館)	4月	無	無		
13	伊奈町	4	4	小室小、小針小、南小、小針北小	小学校:4か所	平日(不定期):4か所	平日(不定期) 放課後~16:00:4か所	未設置	無	無	
伊奈町 (土曜日の教育支援)	4	4	小室小、小針小、南小、小針北小	小学校:3か所 中学校:1か所	土曜日(月2回):3か所 土曜日(月2回):1か所	土曜日 9:00~11:00:3か所 " 10:00~11:00:3か所	未設置	無	無		

第4 「放課後子供教室推進事業」とは

平成28年度「放課後子供教室推進事業」の実施状況一覧表

※ 網掛けは、県の補助を受けずに独自に類似事業を実施している市町

地区	No.	市町村	実施教室数	対象学校区数	対象学校区	主な活動場所	活動曜日	時間帯	運営委員会	学習調査の活用	研修の実施
西部 地区	1	所沢市	11	11	所沢小、北小、松井小、清進小、明峰小、若松小、北秋津小、林小、若狭小、南小、中富小	小学校：11か所	月～金曜日（毎週）：11か所	平日 放課後～18:00（希望者のみ19:00まで）：1か所 放課後～18:00：2か所、放課後～17:45：2か所 放課後～17:30：5か所、放課後～16:30：1か所	5月	無	有
		所沢市 (土曜日の教育支援)	1	1	所沢小	小学校：1か所	土曜日及び長期休暇（毎週）：1か所	土曜日 9:00～12:00 長期休業日 13:00～18:00（希望者のみ19:00まで）：1か所	5月	無	有
	2	東松山市	6	6	青島小、新宿小、野本小、市の川小、新明小、桜山小	小学校：6か所	月・金曜日（毎週）：6か所	放課後（15:00頃）～16:30：6か所	3月	無	無
		東松山市 (土曜日の教育支援)	3	2	野本小、桜山小	その他(市民活動センター)：2か所 小学校：1か所	土曜日（月2回）：3か所	土曜日 9:30～11:30：3か所	5月	無	無
	3	狭山市	16	15	入間川小、入間川東小、富士見小、南小、山王小、入間野小、御狩場小、堀兼小、狭山台小、新狭山小、奥富小、祐原小、水富小、広瀬小、笹井小	小学校：10か所 公民館：4か所 その他(公園等)：2か所	月曜日（毎週、5月～10月）：1か所 月曜日（月1日）：5か所 金曜日（月2日）：1か所 金曜日（月1日）：2か所 土・日曜日（定例・月2回、不定期・年4回）：1か所 土曜日（年6～8日）：2か所 日曜日（月2日）：1か所 日曜日（年8日）：1か所 不定期：2か所（1教室、広域出張事業）	月曜日 放課後～17:30(冬季17:00)：1か所 月曜日 放課後～17:00：2か所 月曜日 放課後～17:00(冬季は16:30又は16:15)：3か所 金曜日 15:00～17:00(冬季は短縮)：1か所 金曜日 放課後～17:00(冬季16:30)：2か所 土曜日 9:30～11:30：2か所 土・日曜日 10:00～16:00(終了時間は変動あり)：1か所 日曜日 10:00～12:00：2か所 不定期(広域出張事業含む)：2か所	5月	無	有 ※地域子ども教室 連絡会主催事業
	4	入間市	20	16	豊岡小、東金子小、金子小、宮寺小、藤沢小、狭山小、西武小、藤沢南小、黒須小、厩小、藤沢東小、藤沢北小、仏子小、新久小、東町小、高倉小	小学校：18か所 (のべ) 公民館：2か所	土曜日：16か所(長期休業日を除く毎週) 週2日(原則授業給食のある日)：2か所 週1日(原則授業給食のある日)：2か所	土曜日：9:00～12:00：16か所 平日：放課後～16:45：4か所	6月 8月 12月 3月	無	無
	5	富士見市	11	11	水谷小、関沢小、水谷東小、南畑小、勝瀬小、ふじみ野小、針ヶ谷小、護訪小、つるせ台小、みずほ台小、鶴瀬小	小学校：10か所 公民館：1か所	月曜日（月1～4回程度）：5か所 月曜日（月2回）・土曜日（月1回程度）：1か所 土曜日（月1～2回）：2か所 不定期（隔月・年4回～2回）：3か所	平日 放課後～16:30：8か所（冬季は16:00） 平日 放課後～17:00：1か所（※冬季は時間短縮） 土曜日 10:00～12:00：2か所	5月	無	無
	6	坂戸市	3	3	三芳野小、勝呂小、片柳小	小学校：3か所	月曜日（授業給食のある毎週）：2か所 火曜日（授業給食のある毎週）：1か所	月曜日 15:00～16:30：2か所 火曜日 15:00～16:30：1か所	10月	無	有
		坂戸市 (土曜日の教育支援)	9	12	坂戸小、三芳野小、勝呂小、入西小、大家小、浅羽野小、千代田小、片柳小、南小、上谷小、城山小、桜小	公民館：5か所 市民センター：1か所	土曜日（月2回程度）：9か所	9:30～11:30：9か所	5月 11月 2月	無	無
	7	鶴ヶ島市	12	8	鶴ヶ島第一小、鶴ヶ島第二小、新町小、杉下小、長久保小、栄小、藤小、南小	小学校：9か所 市民センター：3か所	月曜日（授業給食のある毎週）：2か所 火曜日（授業給食のある毎週）：1か所 水曜日（授業給食のある毎週）：1か所 月～金曜日（原則授業給食のある週）：8か所 ※夏休みは一部実施	月曜日 15:00～17:00：2か所 火曜日 15:00～17:00：1か所 水曜日 15:00～17:00：1か所 月～金曜日 原則15:00～17:00：8か所 ※夏休みは午前	7月 1月	無	無
	8	日高市	6	6	高萩北小、高麗小、高根小、高萩小、武蔵台小、高麗川小	小学校：6か所	月曜日（月1回程度）：3か所 火曜日（月1回程度）：1か所 金曜日（月1回程度）：2か所	月曜日 15:00～17:00：1か所 月曜日 15:00～17:00：2か所（冬季 15:00～16:30） 火曜日 15:00～16:30：1か所 金曜日 15:00～16:30：1か所 金曜日 15:00～17:00：1か所（冬季 15:00～16:30）	28年度の開催は無	無	無
	9	ふじみ野市	13	13	西原小、東台小、さぎの森小、駒西小、三角小、東原小、元福小、西小、大井小、亀久保小、福岡小、上野台小、鶴ヶ丘小	小学校：13か所	月曜日（毎週）：7か所 火曜日（毎週）：1か所 水曜日（毎週）：1か所 木曜日（毎週）：2か所 金曜日（毎週）：2か所	放課後～17:00（冬季16:30まで）：13か所	5月 7月 11月 3月	無	有
		ふじみ野市 (土曜日の教育支援)	2	6	福岡中、葦原中、花の木中、大井中、大井西中、大井東中	うれし野市民会館 上福岡公民館	土曜日：2か所	9:00～12:00：2か所	7月	無	無
	10	毛呂山町	2	4	毛呂山小、川角小、光山小、泉野小	公民館：1か所 図書館：1か所	土曜日（月3回程度）：1か所 木曜日（月3回程度）：1か所	土曜日 10:00～15:00：1か所 木曜日 15:00～17:30：1か所	5月 2月	無	無
	11	嵐山町	1	3	菅谷小、七郷小、志賀小	嵐山町ふれあい交流センター：1か所	月曜日（月3回程度、1.2.4.8月を除く）、土・日曜日及び長期休業日（不定期）：1か所	月曜日（16:00～17:00）、土・日曜日及び長期休業日（午前又は午後）：1か所	1月 2月 3月	無	無
	12	川島町	6	6	中山小、伊草小、三保谷小、出丸小、八ツ保小、小見野小	公民館：6か所	土・日曜日・休日（月1回程度）：6か所	9:00～12:00：4か所 13:00～16:00：2か所	5月 10月 2月	無	有
13	吉見町	2	2	南小、北小	公民館：2か所	月・金曜日（毎週）：2か所	放課後～17:00：2か所	8月 2月	無	有	
14	ときがわ町	1	1	萩ヶ丘小	小学校：1か所	月～金曜日（毎週）：1か所	平日 放課後～17:00（冬季～16:30）：1か所	28年度の開催は無	無	無	
	ときがわ町 (土曜日の教育支援)	1	5	玉川小、萩ヶ丘小、明覚小、都幾川中、玉川中	公民館：1か所	土曜日（年15回程度）：1か所	土曜日 11:00～12:30：1か所	28年度の開催は無	無	無	
15	越生町	1	2	越生小、梅園小	その他(郷土資料室)：1か所	土・日曜日・祝日及び長期休業日：1か所	・4/1～9/30→13:00～17:00（1か所） ・10/1～3/31→13:00～16:30（1か所）	未設置	無	無	
	越生町 (中学生学力アップ教室)	1	1	越生中	中学校：1か所	長期休業日等：1か所	午前中：1か所	7月	無	無	
16	鳩山町	1	3	亀井小、今宿小、鳩山小	中央公民館：1か所	主に土曜日（年6回）：1か所	9:00～11:30：1か所	未設置	無	無	

推進事業とは「放課後子供教室」

平成28年度「放課後子供教室推進事業」の実施状況一覧表

※ 網掛けは、県の補助を受けずに独自に類似事業を実施している市町

地区	No.	市町村	実施教室数	対象学区数	対象学校区	主な活動場所	活動曜日	時間帯	運営委員会	学習調査の活用	研修の実施
北 部 地 区	1	熊谷市	29	29	市内全小学校	小学校:29か所	月曜日(不定期2回)、長期休業日(5回):1か所 日曜日・長期休業日(不定期年3回):1か所 土曜日・長期休業日(不定期年8回):1か所 金・土・日曜日・長期休業日(不定期年10回):1か所 金曜日(6・7・9月)・日曜日・長期休業日(年15回):1か所 水・土・日曜日(不定期年4回):1か所 土・日曜日・長期休業日(不定期年6回):1か所 木・土曜日(毎週)、長期休業日(年10回):1か所 金・土曜日(不定期年2回):1か所 土・日曜日(不定期年3回):1か所 水・土・日曜日・長期休業日(不定期延べ45回程度):1か所 月・土曜日・長期休業日(不定期年4回):1か所 月・水・木・金・土・日曜日・長期休業日(年30回):1か所 土・日曜日(不定期年4回):1か所 平日4回、土曜日(年2回)、長期休業日(年2回):1か所 木・金曜日・長期休業日(不定期年5回):1か所 月～日曜日(不定期月4回程度)長期休業日(年1回):1か所 水・木曜日(不定期年6回)、土(毎週)、長期休業日(年14回):1か所 月～日曜日(期間限定年16回)・長期休業日(不定期年2回程度):1か所 月曜日(年6回)、金曜日(年14回)土曜日(毎週)・長期休業日(年6回):1か所 土曜日(不定期年6回):1か所 土曜日(月1回):1か所 土曜日・長期休業日(年2回):1か所 土・日曜日・長期休業日(不定期年4回):1か所 土・日曜日(年3回)・長期休業日(年7回):1か所 土曜日(毎週)・長期休業日:1か所 土曜日(月1回程度)・長期休業日(年3回):1か所 土曜日(不定期年4回):2か所	月(15:00~16:00)長期休業日(10:30~11:30):1か所 日・長期休業日(8:00~12:00、9:00~17:00):1か所 土(8:30~9:30)長期休業日(13:00~17:00):1か所 金(17:00~19:00)土(13:00~15:00)日(10:00~12:00)長期休業日(13:00~17:00):1か所 金(16:30~18:00)・日、長期休業日(13:30~15:30):1か所 水(15:30~17:30)土・日(9:00~11:00):1か所 土・日・長期休業日(9:00~11:00、14:00~17:00):1か所 木・長期休業日(18:00~20:00)土(9:00~11:30):1か所 金(19:00~20:00)土(9:00~12:00):1か所 土・日(9:00~12:00):1か所 水(16:30~17:30)土・日・長期休業日(9:00~12:00):1か所 月(15:00~17:00)土・長期休業日(9:00~11:00):1か所 月・水・木・金(16:00~17:00)土・日(9:00~17:00)長期休業日(9:00~13:00):1か所 土・日(13:00~15:00):1か所 月・水・木・金(16:00~21:00)土(9:00~17:00、9:00~11:00)長期休業日(9:00~13:00):1か所 木・金(14:00~16:00)・長期休業日(15:30~20:30):1か所 月～金(15:30~16:30)土・日(9:00~11:00)長期休業日(9:00~14:00):2か所 水・木(17:30~19:00)土(16:00~18:00)、長期休業日(13:30~1:00):1か所 月・金(16:00~17:00)土(9:00~11:00)長期休業日(9:00~12:00):1か所 土曜日(9:00~11:00、13:00~15:00):2か所 土曜日・長期休業日(9:00~11:00、13:00~15:00):1か所 土・日・長期休業日(9:30~11:30、13:00~15:00):1か所 土・日(9:00~12:00)長期休業日(13:00~17:00):1か所 土曜日(9:00~11:00)長期休業日(13:00~17:00):2か所 土曜日(9:30~11:30):2か所	4月	無	有
		熊谷市 (土曜日の教育支援)	1	45	市内全小・中学校	小・中学校	土曜日または日曜日(年20回程度):1か所	9:00~11:30、10:00~12:00、13:00~15:00のいずれか:1か所	5月	無	無
		熊谷市 (中学生学カアップ教室)	16	16	市内全中学校	各中学校	水曜日:1か所 木曜日:5か所 土曜日:10か所	水曜日16:30~18:30:1か所 木曜日15:30~17:30:1か所 木曜日16:30~18:30:1か所 木曜日17:00~19:00:1か所 木曜日18:00~20:00:1か所 木曜日19:00~21:00:1か所 土曜日9:00~11:00:3か所 土曜日9:30~11:30:2か所 土曜日13:00~15:00:2か所 土曜日14:00~16:00:2か所 土曜日16:00~18:00:1か所	2月	無	有
	秩父市	13	13	秩父第一小、花の木小、西小、南小、尾田藤小、原谷小、久那小、高篠小、大田小、影森小、吉田小、荒川東小、荒川西小	小学校:13か所	月～土曜日及び長期休業日:13か所	平日 放課後~16:30、長期休業日 9:00~16:30:13か所	28年度の開催は無	無	無	
	3	深谷市 (土曜日の教育支援)	19	19	明戸小、幡羅小、深谷小、桜ヶ丘小、大寄小、藤沢小、深谷西小、常盤小、八基小、上柴西小、上柴東小、豊里小、岡部小、榛沢小、本郷小、岡部西小、川本北小、川本南小、花園小	小学校:19か所	土曜日:19か所 各小学校で年30回程度実施	9:15~11:30:19か所	4月	無	有
		深谷市 (中学生学カアップ教室)	10	10	明戸中、幡羅中、深谷中、藤沢中、豊里中、南中、上柴中、岡部中、川本中、花園中	中学校:10か所	月～金曜日、土曜日(隔週)、長期休業日:1か所 月・火曜日、土曜日(隔週)、長期休業日:1か所 月・水曜日、土曜日(隔週)、長期休業日:1か所 月・木曜日、土曜日(隔週)、長期休業日:3か所 月・金曜日、土曜日(隔週)、長期休業日:4か所	月曜日15:10~16:10:1か所 15:30~16:30:1か所 16:30~17:30:1か所 15:15~17:15:1か所 火曜日16:10~17:10:2か所 水曜日16:10~17:10:1か所 木曜日16:10~17:10:1か所 15:30~16:30:1か所 金曜日16:10~17:10:2か所 16:15~17:15:1か所 土曜日10:30~12:40:1か所 8:30~11:30:1か所 9:00~12:00:1か所 15:30~16:30:1か所 長期休業日 10:30~11:45:1か所 8:00~9:30:1か所 19:00~20:00:1か所	4月	無	有
	4	横瀬町	1	1	横瀬小	小学校:1か所	月～金曜日(毎週)、長期休業日:1か所	月～金曜日 放課後~17:30、長期休業日(月～金曜日)8:00~17:30:1か所	7月 12月 3月	無	無
	5	小鹿野町	4	4	小鹿野小学校、長若小学校、三田川小学校、両神小学校	文化センター:1か所 小学校:3か所	夏季休業日(6日間)・土曜日(月1日):1か所 火曜日(毎週):2か所 金曜日(毎週):1か所	夏季休業日・土曜日9:30~11:00:1か所 火曜日14:45~15:30:2か所 金曜日13:45~14:30:1か所	6月	無	無
		小鹿野町 (中学生学カアップ教室)	1	1	小鹿野中学校	中学校:1か所	土曜日(月2日):1か所	8:45~11:45:1か所	毎月(月2回程度)	無	無
	6	上里町	5	5	上里東小、神保原小、賀美小、長幡小、七本木小	小学校:3か所 公民館等:2か所	月・木曜日(年50回):2か所 火・金曜日(年50回):2か所 火～土曜日(年1回):1か所 不定期(年41回):1か所	月・木曜日 放課後~17:00:2か所 火・金曜日 放課後~17:00:2か所 火～土曜日 火曜日の放課後～土曜日の13:30:1か所 不定期:1か所	6月	無	有
上里町 (中学生学カアップ教室)		1	2	上里中、上里北中	公民館:1か所	月・木曜日(毎週):1か所	月・木曜日 17:00~19:00:1か所	7月	無	無	
7	寄居町	6	6	寄居小、桜沢小、用土小、折原小、鉢形小、男衾小	小学校:6か所	①9~12月初旬 ②2~3月 火曜日(年20回):3か所 水曜日(年20回):1か所 金曜日(年20回):2か所	14:45~15:30:4か所 14:50~15:35:1か所 14:55~15:40:1か所	無	無	無	
	寄居町 (中学生学カアップ教室)	1	3	寄居中、城南中、男衾中	寄居町役場:1か所	8月下旬~2月の原則土曜日又は日曜日(毎週):1か所(年間28回)	午前の部(9:30~11:50)又は午後の部(13:00~15:20):1か所	7月 11月 1月	無	無	

第4 「放課後子供教室推進事業」とは

平成28年度「放課後子供教室推進事業」の実施状況一覧表

※ 網掛けは、県の補助を受けずに独自に類似事業を実施している市町

地区	No.	市町村	実施 教室数	対象 学校区数	対象学校区	主な活動場所	活動曜日	時間帯	運営委員会	学習調査の 活用	研修の実施
東 部 地 区	1	行田市	4	4	北小、北河原小、西小、太田東小	小学校：3か所 地域文化センター：1箇所	月曜日（隔週）：1か所 木曜日（毎週）：3か所	15:00～16:40：4か所	5月 12月	無	無
	2	加須市	3	3	①駒小、田ヶ谷小 ②不動岡小	①小学校：2か所 ②小学校・公民館：1か所	①不定期（年2～3回）：2か所 ※学校の斉下校の日に合わせて実施 ②月曜日（年7回）、土曜日（年8回）：1か所	①月曜日 15:00～16:30：2か所 ②月曜日 15:00～17:00、 土曜日 9:30～11:30：1か所	① 7月 8月 11月 1月 ② 6月	無	無
		加須市 （中学生学カ アップ教室）	5	8	昭和中、加須西中、加須東中、 加須北中、加須平成中、駒西 中、北川辺中、大利根中	公民館1か所、 文化・学習セン ター1か所、総 合支所1か所、 コミュニティー センター2か所	土曜又は日曜：5か所	9:45～11:45又は13:30～15:30：5か所	6月 7月 9月 12月	無	無
	3	春日部市	15	15	内牧小、幸松小、桜川小 宮川小、正善小、緑小 武里南小、藤塚小、宝珠花小 武里小、立野小、牛島小、八木 崎小、上沖小、中野小	小学校：15か所	月曜日のみ 年3～15回：9か所 水曜日のみ 年6回：1か所 木曜日のみ 年3回：1か所 不定期（年2回～29回）：4か所	放課後～17:00までの間：15か所	11月 3月	無	有
		春日部市 （土曜日の教育支援）	7	7	宮川小、緑小、武里南小、藤塚 小、武里小、牛島小、上沖小	小学校7か所	第2、第4土曜日：1か所 不定期：6か所	9:00～15:00までの間：7か所	11月 3月	無	有
	4	羽生市	6	6	羽生北小、岩瀬小、井泉小、 手子林小、羽生南小、新郷第一 小	小学校：4か所 小学校と集会所 ：1か所 公民館：1か所	木曜日（月3回）：1か所 月（毎週）・土曜日（毎週）：1か所 月曜日（毎週）：4か所 ※会場等の都合により休み有り	木曜日 15:30～17:30：1か所 月曜日 放課後～17:00（5月～10月）、 放課後～16:00（11月～3月）、 不定期の講座実施時には17:00まで（5月～3 月） 土曜日 10:00～12:00：1か所 月曜日 15:00～17:00：4か所	7月 11月 12月	無	無
	5	越谷市	18	19	越ヶ谷小、大沢小、新方小、 越谷小、出羽小、蒲生小、 南越谷小、蒲生第二小、 東越谷小、大沢北小、 蒲生南小、北越谷小、弥栄小、 大間野小、鷺後小、明正小、 桜井南小、花田小、城ノ上小	小学校：12か所 地区センター・ 公民館：4か所 公園：1か所 科学技術セン ター：1か所	平日 週1日：3か所、月3回：4か所 月2日：5か所、月1回：1か所 土曜日 月2回：3か所、月1回：2か所	平日 15:00～17:00：7か所 15:00～16:30：2か所 15:00～16:45：2か所 15:00～17:00（冬季は15:00～16:30）：2か所 土曜日 9:15～11:30：1か所 10:00～15:00：1か所 13:00～15:00：1か所 13:00～15:30：1か所 13:30～16:00：1か所	5月 10月 3月	無	有
	6	久喜市	23	23	久喜小、太田小、江面第一小、 江面第二小、清久小、本町小、 青葉小、青毛小、久喜東小、 久喜北小、菖蒲小、小林小、 三箇小、相間小、菖蒲東小、栗 橋西小、栗橋南小、栗橋小、鷺 宮小、桜田小、上内小、砂原 小、東鷺宮小	小学校：23か所	月曜日（月2～3回）・土曜日（月2～3回）：1か所 月曜日（月2～3回）・土曜日（月1～2回）：4か所 月曜日（月2～3回）・土曜日（年5回）：2か所 月曜日（月2～3回）・土曜日（年1回）：2か所 月曜日（月1～2回）・土曜日（年3回）：3か所 月曜日（月1～2回）・土曜日（年1回）：1か所 月曜日（年9回）：1か所 月曜日（年6回）：1か所 月曜日（年4回）・火曜日（年6回）：1か所 月曜日（月1～2回）・水曜日（年2回）・土曜日（年2 回）：1か所 木曜日（月2～3回）・土曜日（月1～2回）：1か所 木曜日（月2～3回）・土曜日（年5回）：1か所 木曜日（月1～2回）・土曜日（年3回）：1か所 金曜日（月1～2回）・土曜日（年2回）：1か所 土曜日（年7回）：1か所	平日 15:00～16:30（冬季 15:00～16:15）と土曜日 9:30～11:30：19か所 平日 15:00～16:30（冬季 15:00～16:15）：3か所 土曜日 9:30～11:30：1か所	4月 5月 10月 3月	無	有
		久喜市 （土曜日の教育支援）	11	11	久喜小、太田小、江面第一小、 清久小、本町小、青葉小、 久喜東小、久喜北小、菖蒲小、 三箇小、栗橋小、	小学校：11か所	土曜日（月2～3回）：2か所 土曜日（月1～2回）：9か所	土曜日 9:30～11:30：11か所	4月 5月 10月 3月	無	無
	7	八潮市	10	10	八潮小、潮止小、八幡小、 大曾根小、松之本小、中川小、 八幡北小、大瀬小、大原小、 柳之宮小	小学校：10か所	土曜日（原則第1、第3）：10か所	9:00～12:00：10か所	5月	無	無
	8	三郷市	4	19	早稲田小、八木郷小、戸ヶ崎 小、彦成小、高州小、吹上小、 桜小、鷹野小、新和小、幸房 小、立花小、彦糸小、前谷小、 高州東小、彦郷小、丹後小、前 間小、瑞木小、後谷小	地区文化セン ター ：2か所 市民センター ：1か所 小学校 ：1か所	火・木曜日（毎週）：1か所 月・水・金・土曜日（毎週）：1か所 土曜日（毎週）：1か所 平日（月1回）：1か所	平日 15:00～17:00（4月～9月） 15:00～16:30（10月～3月） 土曜日 13:30～17:00（4月～9月） 13:30～16:30（10月～3月）	2月	無	無
		三郷市 （土曜日の教育支援）	5	27	早稲田小、八木郷小、戸ヶ崎 小、彦成小、高州小、吹上小、 桜小、鷹野小、新和小、幸房 小、立花小、彦糸小、前谷小、 高州東小、彦郷小、丹後小、前 間小、瑞木小、後谷小 （中学校） 南中、北中、栄中、彦成中、彦 糸中、前川中、早稲田中、瑞穂 中	おもしろ遊学館 ：1か所 （中学校） おもしろ遊学館 ：1か所 東和東地区文化 センター ：1か所	土曜日：年33回 日曜日：年32回 夏季休業中の月・火・木：計4回 （中学校） 土曜日：2回 日曜日：8回 祝日：2回	土曜日：10:00～15:00の1時間 日曜日：10:00～15:00の1時間 夏季休業：10:00～15:00の1時間 （中学校） 9:30～11:40の2時間（10～11月） 9:00～12:30の3時間（12月）	毎月	無	無
9	蓮田市	4	4	黒浜南小、黒浜小、平野小、蓮 田北小	小学校：4か所	水曜日（年23回）：1か所 長期休業日（年6回）：1か所 水曜日（年25回）：1か所 金曜日（年20回）：1か所 不定期（年8回）：1か所	水曜日 14:30～15:35までの間：1か所 長期休業日 9:30～11:30：1か所 水曜日 放課後～17:30までの間：1か所 金曜日 放課後～17:00までの間：1か所 不定期 16:00～17:00：1か所	10月	無	無	
10	幸手市	1	1	吉田小	小学校：1か所	①第1～第3月曜日 ②火・木曜日（毎週）	①15:00～16:30 ②15:45～16:30	未設置	無	無	
11	吉川市	8	8	吉川小、旭小、三輪野江小 関小、北谷小、栄小 中曾根小、美南小	小学校：8か所	土・日曜日（月1～2回程度）：8か所 ※学校によって不定期	9:00～16:00：8か所	8月	無	無	
12	杉戸町	2	2	杉戸第三小、杉戸第二小	小学校：2か所	月・水曜日（月3～4回程度）：1か所 月・金曜日（月3～4回程度）：1か所	月・水曜日 15:00～17:00：1か所 月・金曜日 15:00～16:00：1か所	5月	無	無	
合計			583	705							

第4 「放課後子供教室
推進事業」とは

3 事業推進の取組、指導者研修等について

(1) 学校・家庭・地域連携推進委員会

ア 第1回学校・家庭・地域連携推進委員会

- 実施日等 平成28年5月26日(木) 知事公館
- 内 容 「放課後子供教室」の推進について など

イ 第2回学校・家庭・地域連携推進委員会

- 実施日等 平成29年2月3日(金) 知事公館
- 内 容 ・「放課後子供教室」の成果と課題について
・来年度の推進体制及び年間計画について など

(2) 学校・家庭・地域連携担当者会議

ア 第1回学校・家庭・地域連携担当者会議

- 内 容 事業内容の説明、全体協議、班別協議等
- 実施日等 南部 平成28年6月21日(火) 浦和合同庁舎
西部 " 6月15日(水) ウェスタ川越
北部 " 6月17日(金) 寄居町中央公民館
東部 " 6月 3日(金) 春日部地方庁舎

イ 第2回学校・家庭・地域連携担当者会議

- 内 容 事業の推進状況、全体協議、班別協議等
- 実施日等 南部 平成29年1月13日(金) 浦和合同庁舎
西部 " 1月18日(水) ウェスタ川越
北部 " 1月19日(木) 寄居町中央公民館
東部 " 1月18日(水) 春日部合同庁舎

(3) 学校・家庭・地域連携実践発表会

ア 南部(北足立南部地区)

- 実施日等 平成28年11月18日(金) さいたま市民会館うらわ
- 参加者 322人
- 発表内容 「子どもの居場所づくりをめぐる学校・家庭・地域の輪～2つの放課後事業の取組を通して～」
和光市教育委員会 生涯学習課

イ 南部(北足立北部地区)

- 実施日等 平成28年11月 2日(水) クレアこうのす
- 参加者 177人
- 発表内容 「北本市放課後子ども教室の取組」北本市教育委員会 生涯学習課

ウ 西部

- 実施日等 平成28年11月22日(火) フレサよしみ
- 参加者 409人
- 発表内容 「毛呂山町放課後子ども教室」毛呂山町教育委員会 生涯学習課

エ 北部

- 実施日等 平成28年11月17日(木) 深谷市川本公民館
- 参加者 197人
- 発表内容 「上里町における放課後子供教室・中学生学力アップ教室の取組」
上里町教育委員会 生涯学習課・学校教育指導室

オ 東部

- 実施日等 平成28年11月18日(金) パストラルかぞ
- 参加者 509人
- 発表内容 「放課後子ども教室推進事業」春日部市教育委員会 社会教育課

(4) 放課後子供教室指導者等研修会

ア コーディネーター研修(「学校応援団・放課後子供教室合同研修」を1日、「個別研修」を1日開催)

(ア) 学校応援団・放課後子供教室合同研修

- 実施日等 平成28年8月30日(火) 埼玉県県民健康センター
- 参加者 78人
- 内 容
 - ・講義Ⅰ「学校と地域の連携の在り方」
全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター 橋本 洋光 先生
 - ・講義Ⅱ「児童心理(子供への接し方)」
埼玉大学 教授 坂西 友秀 先生
 - ・グループワーク「学校と地域の連携について話してみよう」
社会教育実践研究センター 専門調査員 尾山 清龍 先生

(イ) 個別研修(放課後子供教室)

- 実施日等 平成28年9月6日(火) さいたま市民会館うらわ
- 参加者 44人
- 内 容
 - ・講義Ⅰ「放課後子供教室コーディネーターの役割」
東京立正短期大学 講師 矢生 秀仁 先生
 - ・事例発表(志木市放課後子ども教室「宗岡りんくす」)
 - ・講義Ⅱ「放課後子供教室におけるプログラム開発」
東京立正短期大学 講師 矢生 秀仁 先生

イ 放課後子供教室等ステップアップ研修

- 実施日等 平成28年8月24日(水) さいたま市民会館うらわ
- 参加者 54人
- 内 容
 - ・事例発表(富士見市地域子ども教室「かつせらんど」)
 - ・講義「子供への支援活動の実践」
玉川大学TAPセンター 助教 村井 伸二 先生

ウ 「学校応援団」及び「放課後子供教室」コーディネーター等体験学習会【新規】

- 実施日等 平成28年9月23日(金)、9月28日(水) 埼玉県立歴史と民俗の博物館
- 参加者 延べ35人
- 内 容
 - ・埼玉県立歴史と民俗の博物館職員による概要説明
 - ・まが玉作り体験
 - ・展示室観覧
 - ・質疑応答

